

履 歴 書		
ふりがな にしゃんた	男性	スリランカ生まれ 日本国籍
氏 名 にしゃんた	住所	
生年月日 (年齢)	昭和44年07月18日 (満50才)	ホームページ: nishan.jp メール: team@nishan.jp
学 歴		
年 月	事 項	
1990年4月	立命館大学 経営学部 経営学科 入学	
1994年3月	立命館大学 経営学部 経営学科 卒業 (学部総代) 経営 学士	
1994年4月	名城大学 大学院 商学研究科 修士課程前期課程 入学	
1995年4月	龍谷大学 大学院 経済学研究科 修士課程前期課程 入学	
1996年3月	名城大学 大学院 商学研究科 修士課程前期課程 修了 商学 修士	
1997年3月	龍谷大学 大学院 経済学研究科 修士課程前期課程 修了 経済学修士	
1997年4月	龍谷大学 大学院 経済学研究科 博士課程後期課程 入学	
2001年3月	龍谷大学 大学院 経済学研究科 博士課程後期課程 単位修得満期退学	
2003年3月	経済学- (民際) 博士	
職 歴		
年 月	事 項	
1998年10月	全国市町村国際交流文化研究所 外部講師 (2005年迄)	
1998年11月	国際協力事業団-青年海外協力隊 外部講師 「協力隊に求められるもの」 (2年間)	
2000年8月	第21回近畿青年洋上大学 講師「国際理解講座-多文化共生論」	
2001年2月	@nippon 株式会社グローバルコンテンツ代表取締役社長 (2002年3月迄)	
2001年4月	龍谷大学 経済学部 非常勤講師 (1年間)	
2005年8月	九州アジア大学 講師 (「国境の越え方~民際経済論のすすめ」) (1年間)	
2002年4月	山口県立大学国際文化学部 専任講師	
2006年4月	山口県立大学国際文化学部 専任准教授 (2009年3月31日、円満退職)	
2008年4月	龍谷大学 国際文化学部 非常勤講師 (1年間)	
2008年4月	滋賀短期大学 ビジネスコミュニケーション学科 非常勤講師 (2年間)	
2010年4月	羽衣国際大学 現代社会学部 放送メディア映像学科 准教授	
2015年4月	羽衣国際大学 現代社会学部 教授 (現在に到る)	

学会及び社会における活動等		
年 月	事 項	
1997 都市 6 月	日本国際文化学会、日本南アジア学会、アジア経営学会、国際開発学会、日本経営学会、工業経営研究学会(現在まで所属した学会)	
1992 年 6 月	京都府名誉友好大使：初代 (現在に至る)	
1994 年 4 月	関西留学生新聞 編集委員長 (2003 年迄)	
1998 年 10 月	京都基本構想等審議会 審議員 (京都市長より任命)	
1998 年 10 月	京都市外国籍市民施設懇話会 懇話員 (京都市長より任命)	
1999 年 11 月	NPO 法人 多文化共生センター 理事	
1999 年 12 月	21 世紀京都市幕開事業企画委員会 企画・実行委員 (京都市長より任命)	
2001 年 2 月	多文化共生センター きょうと代表	
2001 年 4 月	京都ユースホステル協議会評議員 (現在に至る)	
2002 年 3 月	NPO 法人 多民族共生人権教育センター 理事 (2019 年迄)	
2003 年 4 月	京都立誠空手道場 主宰	
2005 年 2 月	NPO One-Asia 主宰	
2007 年 11 月	献血ルーム一日所長 (京都)	
2007 年 11 月	「にしゃんた献血の会」発足 (現在に至る)	
2008 年 12 月	京都府消防応援団 団員 (京都府知事任命) (現在に至る)	
2012 年 4 月	フジテレビ・オピニオンリーダー (フジテレビ制作番組に対しオピニオン提供)	
2014 年 2 月	「Yahoo! ニュース」 オーサー (唯一の外国出身者である)	
2015 年 3 月	「The Huffington Post Japan」 official blog ライター	
2017 年 7 月	「blogos」ブロガー	
2020 年 5 月	Newsweek オーサー	
2020 年 5 月	ダイバーシティ能力検定®試験ファウンダー	
賞 罰		
年 月	事 項	
1992 年 3 月	第 2 回 京都府留学生スピーチコンテスト「自由題」	最優秀賞
1992 年 12 月	京都市国際交流会館主催 外国人による日本語弁論大会「国際化と京都への提案」	最優秀賞
1993 年 9 月	第 14 回 留学生の主張 日本語による在日留学生弁論大会 (全国大会)	

1995年5月	「21世紀への提案」 最優秀賞
1995年11月	名古屋内外学生センター主催 第9回アルバイト体験発表論文「心の豊かさを求めて」 最優秀賞
1995年11月	龍谷大学留学生別科 10周年記念 第6回日本語弁論大会 「はじめの一步」 最優秀賞第20回 関西地区外国人留学生による日本語弁論大会 「世界の民族問題」 最優秀賞第18回 神戸市長杯バイリンガルスピーチコンテスト (日・英-全国大会)
1997年11月	
1997年12月	「平和を考える-ラグビー・フィフティーンに捧げる」 最優秀賞
1998年5月	京都内外学生センター主催 第1回アルバイト体験発表論文「真の国際交流とは」 最優秀賞 内外学生センター主催 アルバイト体験発表論文 全国大会 「真の国際交流とは」 最優秀賞
1998年12月	京都市自治百周年記念『京都元気大賞』(全国大会応募数 8500 作品) 「三条大橋」 最優秀賞
2001年6月	新世紀かがやき交流賞 (京都府開庁記念日記念式典において代表を務める多文化共生センター きょうとの地域における多文化共生に関する社会貢献を評価)
2004年10月	国際化推進特別感謝状 (京都市自治記念式典において京都市の国際交流及び、多文化共生への貢献を評価)
2006年6月	総務省「u-Japan ベストプラクティス事例 (事例 No.42)」に選定 (起業し、私が初代代表取締役を務めた株式会社グローバルコンテンツが選ばれる)
2007年11月	「ソーシャル・ビジネス・アワード 2 ソーシャル IT ビジネス賞」受賞 (同上企業が受賞)
2009年8月	社会人落語初代日本一決定戦 準優勝
2010年5月	国会議員政策担当 秘書口取得
2018年2月	出家得度

大 学 職 務 状 況					
勤 務 先	職 名	学部、学科等	担当授業科目名	毎週担当授業時間数	
				専任	計
龍谷大学 2001年4月 2009年3月	非常勤 講師	経済学部	異文化研究 A (南アジアを知る)	○	1
			異文化研究B-(日本の多文化共生)	○	1
			フレッシュマンゼミ	○	1
滋賀短期大学 2008年4月	非常勤 講師	国際文化学部 ビジネスコミュニケーション	Japanese Economics	○	1
			中小企業論	○	1
山口県立大学 2002年4月~ 2009年3月迄	専任 講師 准教授	国際文化学部	国際経済論	○	1
			アジアの経済	○	1
			基礎演習	○	1
			地域実習-国内	○	1
			地域実習-海外	○	1
			専門演習 I	○	1

			専門演習Ⅱ	○	1
			論文指導	○	1
			Inter. Economics and Japan	○	1
			Asian economics and Japan	○	1
			経済学	○	1
			専門インターンシップ	○	1
			地域実習	○	1

羽衣国際大学	教授	現代社会学部	共生社会	○	1
			比較文化	○	1
			国際社会の中の日本	○	1
			アジアの中の日本	○	1
			知識社会論	○	1
			大学入門	○	1
			学びの基礎技法	○	1
			ボランティア論	○	1
			ボランティア活動	○	1
			ビジネス実務演習	○	1
			演習ゼミ	○	1
			ゼミナールⅡ	○	1
			ゼミナールⅢ	○	1
			ゼミナールⅣ	○	1

上記のとおり相違ありません。

令和2年2月15日

氏名 にしゃんた (多原樹一)

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書など) 1 『留学生が愛した国・日本』	単著	2002年5月	現代書館	全国図書協会選定図書に選ばれた。長期にわたる留学生生活を通しての見聞をまとめた内容になっている。スリランカと日本の両国の関係や文化の相違などにも解り易く触れており、本の後半は日本の多文化共生の必要性について日本社会の少数者としての視点で述べている。社会の活力やさらなる発展の阻害要因として日本社会に存在している「言葉の壁」、「制度の壁」や「心の壁」を取り払う必要性を述べている。
2 『外国人教授が見たニッポンの大学教育：これでいいのか経営学の教え方・学び方』	共著	2003年9月	中央経済社	大学で実際に教鞭をとっている外国人教授は、日本の大学をどのように見ているのだろうか。さまざまな国籍をもつ外国人教授が学生、授業、制度など多岐にわたる問題を指摘したレポートである。そこには、日本人大学教授のコメントも収録されている。私は、「国際化時代における日本の経営学教育への提言—スリランカと日本のはざまで—」を執筆した。内容としては、今後日本の大学にとって一層重要視されている留学生の立場での現状の改善に対する提言を行っている。
3 「Japanese style of Management in Sri Lanka」	共著	2003年5月	Sri Lanka Association of Economics	著書『The Distant Neighbors』は、スリランカ日本国交樹立50周年記念し出版したものであり、その中で分担執筆した。日本的経営は、特殊のか普遍的か、または海外に移転可能・不可能の議論は長年続き特に経済のバブルの時期や日本の企業が海外進出を展開した80年代から90年代を中心に大きく花を咲かせた。近年では、国内での議論の勢いがやや落ち着いたかに見える日本的経営だが、世界規模で見ると必ずしも一致せず、そこには大きな温度差

4 「隣国スリランカと日本への期待」	単著	2003年11月	『未来経営』フジタ研究所	<p>がみられる。こちらでは、スリランカの現状を論じている。</p> <p>スリランカは、他のアジア諸国と比べも1977年という早い時期に経済の自由化し、経済・社会の諸問題解決の糸口としての海外直接投資を位置付けている。日本からの直接投資に合わせて日本的経営の移転に対する期待が大きい。現状は期待と大きく隔てられている。基本的な様子の欠落、経営者としての長期的ビジョンの欠落、雇用慣行・制度についての説明不足や現地駐在員の経験不足などの日本的経営移転を防げている日系企業側の要因をここで指摘している。</p>
5 『Japanese Management in Sri Lanka』 reality or wishful thinking	単著	2006年4月	Karunaratne & Sons Sri Lanka	<p>博士論文をもとに発展させた内容を出版した。論文では、まず諸外国における日本的経営についての議論の整理を行っている。次にスリランカにおいて仏教を基盤とした本来の文化に加え、ヨーロッパの国々による植民地支配がもたらした文化がいかにこの国の現存の経営文化を形成させたかを考察した。それらの現状を踏まえ、現地の日系企業の経営実態を観察し、現場ではいかに日本的な経営とスリランカ式経営が融合しているかを通して、海外における日本的経営の移転可能性について論じ提言を行っている。</p>
6 『日本的経営は海を越えられたか?!』	単著	2006年5月	ふくろう出版	<p>山口県立大学の出版助成に選ばれ、出版に至った。日本的経営の移転可能性の研究領域の大きな特徴は、これらの研究は長年、欧米やアジアではNIES等の地域に偏っていた点であった。本稿では、日本的経営の移転可能性について、南アジアの小国であるスリランカでどのような結果をもたらしたかに焦点を当てて検討している。アンケート分析や聞き取りを通して得たデータをもとに分析を行っている。高い期待とともにスリランカ日本双方に対する改善点の提案を行っている。</p>

7『日本で知った「幸せ」の値段』	著	2012年9月	講談社	筆者の四半世紀にわたる日本滞在を振り返りながら「お金」をキーワードに綴った作品である。幸せを求めて来日した著者は、生活のあらゆる場面で費やした「お金」はいくらだったのかを目次で用いながらもその行間で表現するお金ではない「幸せ」。経済、幸福論、人権や多文化共生などのあらゆる分野に関係する内容が盛り込まれている。幅広い年齢の人に読んでもらえるよう工夫した書物である。「朝日新聞」、「京都新聞」や「ダ・ヴィンチ」などで書評が紹介された。
8『ブッダの歩く神秘の国 スリランカ』	単著	2015年9月	キノブックス	スリランカを「世界で一番、素晴らしい島」と褒め讃えたのは、13世紀にこの島にやって来たマルコポーロでした。近年その人気が再来。2010年には「ニューヨークタイムズ誌」で「訪れるべき国」の1位に、2013年には、世界的に有名な旅行雑誌「ロンリープラネット」の「もっとも旅行したい国」でも1位に、さらに2015年には、日本の旅行代理店の「行きたい国」アンケートのランキングで1位となりました。。スリランカの素晴らしさや日本とのつながりや、楽しみ方を現地人の視点で紹介している。
9「移民は日本の国内政策の失敗を移民拡大でごまかすな」	共著	2015年11月	文藝春秋	『文藝春秋オピニオン 2016年の論点100』)の中で日本への移民の受け入れについて論じる。テレビで「移民受け入れ反対」と言ったことが切っ掛けで執筆依頼を受けた。「移民受け入れ」と「多文化共生」はセットとして捉えられている現状だが、切り離して考える必要がある点、前者は反対で、後者は賛成という見方もあること、外国人集住地域などの見聞を通して見えてきた日本における多文化共生の現状を踏まえて今後の受け入れに対して政策提言を行う。
10『共笑 (tomoe) 』(仮題)	単著	年内出版予定	(交渉中)	2020年に日本にオリンピックがやってくる。この祭典は、行き詰まり感が拭えないこの国の起爆剤になるのか。そして国の活力源としての大きな切り札として目されている“国際化”(労働者、観光客、留学生、移民などの受け入れな

				ど)について、現状はどのようになっているのか?今後の可能性や課題について多角的に論じている。
(映像作品) 1. 『スリランカからのことつけ』	共	2005年5月	Hot heart / One-Asia	映像作品。村上清身教授と共に、スリランカを訪問した。こちらの作品は、2200年ぶりと言われる、スリランカがうけた津波被害を取材して作成されたものである。どのように津波が発生したかを経験した多数の人々にインタビューを行った。津波からの学びは何か、また復興に向けての人々の姿勢や諸外国の援助の在り方についても語っている。また、自然災害大国としての日本に向けてのスリランカからの言づけも収録している。
1. 『アジアン タイムズ』	共	2014年12月23日	BS ジャパン	(取材・レポート・コメンテーター) その美しい自然から「輝ける島」「インド洋の真珠」などとも呼ばれている、スリランカ民主社会主義共和国。2009年に26年間続いていた内線が集結。すると、もともと観光資源が豊富だったスリランカに観光客が急増!今、スリランカが熱い!ということで、番組でもお馴染みとなった、スリランカ生まれのにしゃんたさんに案内していただいた!「にしゃんたとゆく、ワクワクドキドキ初体験の国、スリランカ!」行き当たりばったり、にしゃんた流・現地コーディネーター。今回のアジアン・タイムズ、…いったいどうなる!?(番組HPより)
2. 『アジアン タイムズ』	共	2014年11月30日	BS ジャパン	(取材・レポート・コメンテーター) にしゃんたさんと行くスリランカの旅 第2弾!経済が急成長するスリランカの人々の生活に変化が起きている!特に経済の中心地コロンボでは中間層が拡大しているという。そこで、スリランカ生まれのにしゃんたリポーターがスリランカの中間層に突撃取材!街で出会った2組のある家族の生活に密着する。「にしゃんたの突撃!お宅訪問 ~スリランカ編~」はたして彼らの月収は!?暮らしぶりは!?そして夢とは!?(番組HPより)

3. 『アジア タイムズ』	共	2014年12月7日	BS ジャパン	<p>(取材・レポート・コメンテーター) にしゃんたさんと行くスリランカの旅 第3弾! 1983年、スリランカ政府と反政府武装組織 LTTE との間で内戦が勃発。主に北部と東部はLTTEの支配地域となり、スリランカはいわば分断状態にあった。2009年、26年もの長きにわたる内戦が終結すると、現在では列車が開通するなど、交流が活発になっているという。そこで今回はスリランカ生まれのにしゃんたさんさえ行ったことがない、かつての激戦地、北部ジャフナへ! 大興奮のにしゃんたさん!</p> <p>いったいそこには何が待っているのか!?(番組HPより)</p>
4. 『アジア タイムズ』	共	2014年12月14日	BS ジャパン	<p>(取材・レポート・コメンテーター) スリランカ“行き当たりばったり”シリーズ最終回は、かつて内戦の激戦地だった北部・ジャフナへ。魚市場に向かったスリランカ出身の「にしゃんた」さんと小島慶子命名の“ぼんやりD”こと宮崎のコンビは、タミル人の漁師に出会う。漁に同行し、海で遊んだ後、お宅訪問でご馳走になるといういつものパターンかと思いきや・・・</p> <p>「にしゃんた」さんが突然の涙。はたして、その理由とは? スリランカ編、まさかの感動クライマックス!(番組HPより)</p>
<p>(学術論文)</p> <p>1 「スリランカにおける日系企業の経営-平等主義の日本的経営は階層社会に通用するか」</p>	単著	1998年10月	『経済学論集』龍谷大学	<p>38巻2号、pp. 95~115 スリランカではすでに100件以上の日系企業が生産活動を行っており、その数も年々増加の一途をたどっている。経営文化摩擦も多く存在している。スリランカの経営文化について言えば、仏教基盤として形成された古来の経営文化や価値観と、130年間にわたるイギリス植民地支配中に養われたイギリス式経営文化の複雑な融合した独自の経営スタイルがスリランカには存在している。本稿は、既存のスリランカ式経営の形成について再検討しながら、それが日本的経営のもとでは摩擦を生じる潜在的要因になるかどうかについて議論している。</p>

2 「スリランカ日系企業における従業員の意識」	単著	1999年6月	『経済学論集』龍谷大学	39巻1号、pp. 47～65（民際学特集）日本の経営とくに労務管理慣行の移転可能性を多角的に検証する目的で行った調査である。ここでは、スリランカ日系企業の従業員を対象にアンケート調査と参与観察をもとに作成された。現場では、イギリス式の階層意識が強く根付いており、日本にあるような労使問わず画一性を指示するような慣行は一般工員からは強く支持されているが、現地の管理職からは強く反発されている。日本の労務管理の受け入れの可能性が強く見受けられ、長期にわたる試みが求められている。
3 「スリランカ日系企業の経営に関する考察－日本人駐在員に対するアンケート調査を中心に－」	単著	2000年3月	『経済学論集』龍谷大学	39巻3号、pp. 23～40 この論文では、スリランカにおける日本企業の進出について、また日本の経営慣行の移転についての可能性について、スリランカ現地に滞在する日本人駐在員に対して行ったアンケートや聞き取り調査にもとづいて論じている。具体的な内容は次の通りである。スリランカ日系企業の設立・進出目的及び資金調達、日系企業の生産活動・流通および今後の生産動向、日系企業の経営活動上の問題や今後の日系企業の在り方についてである。
4 `Japanese Style of Management and its Possibilities of Internationalization、	単著	2000年6月	『経済学論集』龍谷大学	40巻4号、pp. 31～69 日本の経営は、特殊か普遍的か、または海外に移転可能・不可能の議論は、長年にわたり続き、特に日本の経済がバブルの時期や日本企業がかいがかい進出展開した80年代から90年代を中心に大きく花を咲かせた。議論は論者によって、時代によって大きく分かれている。ここでは、海外移転可能性についての現在までの代表的な研究を整理しながら、改めて日本の経営の普遍性について考察している。
5 `Liberalization and FDI in a Small Country - The case of Sri Lanka -、	単著	2000年8月	『経営学論集』龍谷大学	40巻2号、pp. 149～162 2002年にスリランカと日本は国交樹立50周年を迎えた。日本とスリランカの関係は、もともとの宗教的な交流から、戦後になるとコロンボ・プランにはじ

<p>6 `Problems and Prospects of Investment in a Small Economy: The Case of Japanese Investments in Sri Lanka`</p>	<p>単著</p>	<p>2001年12月</p>	<p>『経済学論集』龍谷大学</p>	<p>まる日本の公的援助などが中心になった。一方で、1970年代後半からスリランカへの日系企業の進出が目立つようになった。現在100件以上の日系企業が商業活動を行っており、見込んでいる雇用者数は2万人を超えている。着実に両国の経済的な交流が盛んになってきており、比例して日本のみならず日本の経営についての関心も日を追う毎に高まっている。両国の人々が日本の経営の移転のための試行錯誤を繰り返している。</p> <p>41巻3号, pp. 51~84 長年続いたイギリス植民地支配下のスリランカの主な外貨獲得源であったプランテーション産業が新しい競争相手の登場などによって国際競争力を失い、長年のテロ活動が国家の経済をますます衰弱させていった。スリランカとしては社会のあらゆる問題解決の糸口としても海外資本誘致による経済の工業化および活性化を試みたいところである。そこでの日本からの資本もさることながら日本の経営への期待も高い。</p>
<p>7 `The Adoption of Japanese System of Management in Business outside Japan : The Case of Sri Lanka`</p>	<p>単著</p>	<p>2002年3月</p>	<p>龍谷大学</p>	<p>[博士学位論文] 南アジアにある小国の事例を通して、日本の経営の移転可能性という共通の関心や課題へ挑戦を2ヶ国の経営フロンティアの試みを迫ってみた。移転可能かまたはどの程に実現できているのか、はたまた上手いかわからないところの原因はどこにあるか、今後の改善点とは何かを検討している。主な検証方法は、スリランカ現地のフィールドワークを中心にしており、日系企業に対する参与観察、聞き取りおよびアンケート調査で入手した情報の分析を行っている。</p>
<p>8 `Comparative Studies of International Management The case of Management Culture in Sri Lanka`</p>	<p>単著</p>	<p>2004年2月</p>	<p>『経済学論集』龍谷大学</p>	<p>10号, pp. A29~A49 グローバリゼーションは、企業の多国籍化を進めた。ことに80年代の後半からの円の高騰により、日本の企業の生産拠点の海外移転・日本企業の国際化が本格化した。時期を同じくして、企業人に限らず、研究者の間でも議論になったのは日本の経営の海外移転可能性についてである。移転可能性</p>

<p>9 `Japanese-style Human Resource Management in Sri Lanka – The Case study of Usui Lanka (Pvt.) Ltd. 》</p>	<p>単著</p>	<p>2004年3月</p>	<p>『山口県立大学国際文化学部紀要』</p>	<p>を論じる前に前提条件になるのは、進出先の経営文化の把握である。ここでは、セレンディブティー(予期せぬ発見の島)と呼ばれ現在のスリランカに焦点を当てている。</p> <p>43巻4号、pp. 27～54 スリランカにおいて日本の経営の移転可能性について考察するために行った事例研究の一つである。関西に本社のあるこちらの企業は、スリランカで画筆や化粧筆を製造している。スリランカへの進出の目的、組織図はもちろん、従業員・管理職の採用、教育、昇進、昇給などを明らかにした。また、日本の経営慣行の実施状況を調査した。こちらでは、数週間にわたる参与観察を行い、異なる立場での意見などを網羅しながら執筆を行っている。</p>
<p>10 `Possibility of internationalization of Japanese Style of Management to Asia-research Review、</p>	<p>単著</p>	<p>2005年3月</p>	<p>『経済学論集』龍谷大学</p>	<p>11号、pp. A11～A28 ここでは、アジアの各国において日本的経営慣行の移転可能性について論じている研究の比較などを行っている。日本的経営は、特殊のか普遍的か、または海外に移転可能・不可能の議論は、長年にわたり続いたが、その答えは実に、議論は論者によって、時代によって大きく分かれている。ここでは、アジアを中心に海外移転可能性についての現在までの代表的な研究を整理しながら、改めて日本的経営論について考察している。</p>
<p>11 `Japanese-style Human Resource Management in Sri Lanka – The Case study of Noritake Lanka (Pvt.)Ltd. 》</p>	<p>単著</p>	<p>2006年3月</p>	<p>『山口県立大学国際文化学部紀要』</p>	<p>12号、pp. 23～54 この企業はスリランカで最も古くから製造活動を行っており、こちらでは、日本の経営の移転可能性について考察するために行った事例研究として取り上げた。関西に本社のあるこちらの企業は、スリランカで画筆や化粧筆を製造している。スリランカへの進出の目的、組織図はもちろん、従業員・管理職の採用、教育、昇進、昇給などを明らかにした。また、日本の経営慣行の実施状況を調査した。こちらでは、数週間にわたる参与観察を行い、異なる立場での意見などを網羅しながら執筆を行っている。</p>

12 『共生を求められた日本の国際化の課題』-スリランカから帰化した者の民際的な視点で-	単著	2007年3月	『山口県立大学国際文化学部紀要』	13号, pp. 35~50 ここでは、日本における客観的な報道や摩擦などに、筆者としての20年近くの在日記憶と合わせて、住民としての外国人の視点で日本を捉え直し、多文化共生社会という視点で日本の国際化の今日的な課題について議論している。あわせて多数派の日本人に向けての問題解決に向けての提案を行っている。切り口としては論文にするには若干の限界を感じながらも、少なくとも事例研究としての成果に期待し、執筆を試みた内容になっている。
13 「外国人が見た日本の多文化共生」	単著	2019年3月	日立財団「みらい」	日本の国際交流は、基本的に留学生などの帰国する前提の短期滞在者を誘って繰り広げられ、住民としての外国人は国際交流の蚊帳の外にいた。住民としての外国人と関係あるのは「人権」の場なのだと気づかされた。
(調査報告など) 1 『「TSUNAMI 現場から日本へことづけ」-在日の被災地出身者の走り書き記録』	単	2006年3月	『山口県立大学国際文化学部紀要』	12号, pp. 87~90。スリランカにとって2200年ぶりとなる津波を経験した。4万人を超える死者行方不明者が出た今回の災害について被災地を歩いて、見て、聞いて来た記録である。
2 スリランカ内戦と解決のための日本の役割	単	2007年3月	『山口県立大学国際文化学部紀要』	13号, pp. 83~87。26年にわたり、スリランカで繰り広げられることになった内戦の解決のための日本の役割について行った調査の報告である。
(学会報告) 1 『スリランカにおける日本の経営に移転可能性について』	単	1998年06月	アジア経営学会	アジア経営学会 西部部会 開催地：龍谷大学
2 『スリランカの経済開発における外国直接投資』	単	1998年10月	国際開発学会	国際開発学会 全国大会 開催地：龍谷大学
3 『スリランカ日系企業の労務管理に関する考察』	単	1999年11月	アジア経営学会	アジア経営学会 全国大会 開催地：龍谷大学
4 『日本的経営の海外移転の	単	2001年10月	アジア経営	アジア経営学会 全国大会 開催地：立命館大

限界と日本企業側の要因—ス リランカの調査を通して—			学会	学
5『日本におけるエスニック ビジネスの可能性について —現状展望及び社会の壁—』	単	2001年10月	工業経営研 究学会	工業経営研究学会 全国大会 開催地：龍谷大 学
6『異文化の中の日本的経 営』	単	2005年07月	日本国際文 化学会	日本国際文化学会 全国大会 開催地：法政大 学
7『スリランカから日本への ことづけ—津波から学ぶ』 (映像)	共	2005年10月	日本南アジ ア学会 第 18回全国大 会	村上清身との共同報告 日本南アジア学会 全国大会 開催地：龍谷大学
8『スリランカからのことづ け』(映像)	共	2006年10月	日本南アジ ア学会 第 19回全国大 会	村上清身との 共同報告 日本南アジア学会 全国大会 開催地：専修大学
9「違いを楽しみ力にかえる ～ことばの壁を越えて」(文 部科学省)	講 演	2010年8月27日	文化省日本 語教育大会	特別講演を行った。広く移民や多文化共生につ いて、外国人が置かれている状況について、ま た今後の日本語教育の在り方について講演し た。開催地：昭和女子大学
10「真の多文化共生をめざし て」	共	2010年11月11日	人権啓発フ ェスティバ ル	法務省主催。「真の多文化共生をめざして」を テーマについてのディスカッション。パネラー として参加。開催地：大阪
11「真の多文化共生をめざし て～違いを楽しみ、力にかえ る～」	単	2011年02月16日	法務省	法務省の国家公務員対象の人権研究会におい て基調講演を行った。開催地：霞ヶ関
12 人権啓発指導者養成研会	講 演	2011年10月20日	法務省	講演を行った。都道府県及び市区町村の人権啓 発行政に携わる職員等を対象に、地域における 人権啓発の実施、研修を行う指導者として必要 なスキルと知識を修得することを目的に開催 する。開催地：名古屋
13 人権シンポジウム「震災 と人権～私たちに出来るこ と～」	共	2012年01月22日	人権シンポ ジウム(法務 省)	災害と人権そして私たちが出来ることについ て発表した。開催地：ザ・フェニックスホール (大阪)

(法務省委託事業) 14 パネルディスカッション たすけあいを忘れない〜今、 わたしたちにできること〜	共	2012年11月10日	日本赤十字 社・NHK	歳末助け合いキャンペーンとして日本赤十字社とNHKが共同で開催する「たすけあいを忘れない〜今、わたしたちにできること〜」と題したパネルディスカッションにパネラーとして参加。2012年11月24日NHK ETVで放送された。(開催地 東京表参道)
(一般誌への投稿) 1. 「違っているからいいんだよ」	単	2012年2月	「ラジオ深夜便」(NHK出版)	NHK「ラジオ深夜便」で2週にわたって話した内容を活字になったものである。
2. 「今、君たちに伝えたいこと-J.R.ジャヤワルダナ大統領」	単	2014年4月	「道徳と特別授業」	pp. 58~59。道徳に教育の副読本である。小学校の教員や小学生向けに「命の大切さ」を伝えるために書かれた文章である。「憎しみは、憎しみによってでは癒えず、ただ愛によってのみ消える」との内容を含まれる名演説から今生きる我々は大いに学ぶ必要があることを書いたものである。
3. 「J. R. ジャヤワルダナ初代大統領と日本」	単	2014年11月	「禅僧と福祉」	pp. 99~102。禅僧と福祉-足利正明師生誕百年記念する会出版。1951年のサンフランシスコ講和会議において、戦後の日本の国際社会への復帰を擁護する演説を行ったジャヤワスダナ初代スリランカ大統領と日本について、特に日本で足跡の残っている数少ない場所や日本人との交流について書いた。
4. 「ことばが違ってほしいはひとつ」	単	2014年12月	公益財団法人国際文化フォーラム	「りんご記念日」という企画に基づいて書いた原稿である。「りんご」とは「隣語」を意味している。多言語国家スリランカにおける状況について、言葉が原因で26年に渡って続いていた戦争やその反省を踏まえた対策について、また日本に向けての言づけについて論じた。
24 「違いを認め、互いの人権を尊重する大切さ」	単	2015年06月号	ひょうごけん人権ジャーナルきずな	兵庫県
(報告書) 1. 「真の多文化共生をめざし	共	2010年11月	平成22年度	法務省主催、2010年11月6日に開催された、

て」				人権啓発フェスティバル	人権シンポジウム「真の多文化共生をめざして」の報告書、講演録である。
2. 「災害と人権」	共	2012年03月		平成23年度人権シンポジウム	法務省主催、2012年1月12日に開催された、人権シンポジウム in 大阪「災害と人権—今私たちに出来ること」の報告、講演録である。
3. 「違いを楽しみ力に変える～多文化共生“新”時代～」	単	2011年07月		人権ひろば	2011年7月号 第80号。法務省の国家公務員対象の人権研究会において行った基調講演報告書、講演録である。
4. 「京都への提言」	共	2011年3月1日		京福電鉄	京福電鉄株式会社主催、立命館大学、読売新聞社共催で京福電鉄（嵐電）開業100周年を記念して開催された『観光立国フォーラム～どうなる日本・京都の観光振興～』を記念して作成された、パネラーによる日本・京都観光業の振興のための提言集である。
「異邦人が覗いた京都のいまむかし」	単	2017年6月1日		TACT	鴨川を中心に京都の古今について書いた記事。
(対談)					
1 「すみきちのぶっちゃんげ堂」	共	2012年11月18日		サンデー毎日	住吉美紀の熱烈対談、「すみきちのぶっちゃんげ堂」(第39回)にて言語の壁や幸福などについて対談した。
2 「小島慶子の幸福論」	共	2015年09月07日		AERA	バブル後に不況突入を経験した日本人。母国の戦争真っ只中に日本を選んだ人間の目にどう映っているのかについて対談した。
3 「ろばた通信」	共	2016年10月01日		広報うすき 11月号	キャンディ市（スリランカ）と臼杵市姉妹提携50周年記念。中野五郎 臼杵市長との対談
(インナー・取材・コメント)					
1. 「その一票360万円？棄権もったいない」	共	2012年01月02日		東京新聞	子どもの将来はどうか、さらにその子孫が幸せに暮らす社会まで考えると、一票は電卓がパンクする値段になる。
2. 「週刊アジア・アジアを語る」…違いを束ね、太い一本にアジアを語る」	単	2012年01月30日		朝日新聞	朝日新聞のシリーズ「週刊アジア・アジアを語る」で、国を超えた民の交わり「民際」による、偏見と無関心をなくす重要性をインタビューで応

				えました。また、最近自信を失っている日
				本がアジアの一員として生きていく方向性についても語っています。
3. 「Nishantha: Japan should tie Asian diversity into one big bundle of arrows」	単	2012年03月21日	Asahi Shinbun	上記の記事の英語版。
4 「新・関西笑談」	単	2012年10月09日	産経新聞	日本に飽きなかった(1)「にしゃんた」、18歳で7万円持ち「おしん」の国へ
5 「新・関西笑談」	単	2012年10月10日	産経新聞	日本に飽きなかった(2)「にしゃんた」、働いて学んでフル回転の楽しい日々でも口癖は「人間になりたい」だった。
6 「新・関西笑談」	単	2012年10月11日	産経新聞	日本に飽きなかった(3)「にしゃんた」、「墓守らぬ男は信用できん」結婚相手の両親に反対。
7 「新・関西笑談」	単	2012年10月12日	産経新聞	日本に飽きなかった(4)「にしゃんた」、「違い」は楽しむためにあるんです 互いに笑って変化していけたら。
8 「新・関西笑談」	単	2012年10月13日	産経新聞	日本に飽きなかった(5)「にしゃんた」、社会人落語大会で快進撃! 「日本人を焦らせたい」
9 「異文化に学ぶ」	単	2013年02月	日本語 ジャーナル	日本語教育従事者向けの雑誌として出版されていた『日本語ジャーナル』の最終号。「異文化に学ぶ」に登場した。日本や日本語教育、多文化共生や日本で知った「幸せ」値段について語っている。

10 「学校と私」	単	2013年02月25日	毎日新聞	学校と恩師について語った。サブタイトルが「捨てた母国を取り戻せた大学院の日々」であり、内容は、大学院で師事した中村尚司、鶴見良行や田中宏の教育論についてである。
11 「Pop style ALL About」	単	2013年06月19日	読売新聞	読売新聞夕刊、ALL ABOUT（見開き一
12 「Living the dream」	単	2013年08月12日	Daily Yomiuri	面)において「七つの顔の男」として紹介された。多様性を巡るエピソードを一挙紹介している。上の記事の英語版である。
13 「毎日なるほど「和」講座」	単	2013年08月30日	毎日新聞	私たちが日頃よく使う言葉や目にする事柄にも、その意味や内容を知っているようで知らないことがたくさんあります。今回は「和」について説明している。とくに「違い」を取り込む柔軟性が日本の「和」の魅力をつくるということや、日本の「和」を深めるために内が必要かについて語っている。
14 「名前だけでありがたがる日本人」	単	2013年11月13日	産経新聞	食の偽装問題についてである。海外で養殖・栽培された食物を輸入する今の日本では、産地側で食材が不作・不漁であっても、本来の日本の四季の旬を無視し、通年メニューがまかり通っている。日本では日々メニューを書き換えるぐらいの気持ちがあっいい。血統で地鶏などの規格を決めるJAS規格も、国産、外国産という分類以上にこだわり、純血主義を尊ぶ日本の排他性を感じさせる。
15 「心に残る恩師の言葉」	単	2014年09月	灯台	pp. 32~34。「歩く、聞く、見る、感じる」で学べと生きた学問を教えてくれた恩師について語っている。子供に多文化を真っ先に教えてくれる教科書は「お弁当」であるなどスリランカ社会について、他に「社会の中で生きた学問がある」「もっと子育ての楽しさを」について語っている。

16 「日本のココが好き」	単	2014 年 09 月	ハーモニー	日本人の受信力に感心する。いかに世の中と関わったら良いかについて日本人の生き方に学ぶことが多い。今後とも日本は質の良いコミュニケーションでみんながともに笑える世の中を作るのにどのようなことが大切なのかについて語っている。
17 「私と外国語」	単	2014 年 10 月	ハーモニー	多言語国家スリランカにおいて言語が人々の
18 「どうする日本・京都の観光振興」	共	2011 年 2 月 17 日	読売新聞	間でどのように存在しているのか。外国語を学ぶ必要性はどこにあるのか。学ぶことにより得られる人生の豊かさについて語っている。合わせて日本語の素晴らしさなどについても語っている。
19 「ラウンジ」	単	2015 年 5 月 00 日	読売新聞	京福電鉄株式会社主催、立命館大学、読売新聞社共催で京福電鉄（嵐電）開業 100 周年を記念して開催された『観光立国フォーラム～どうなる日本・京都の観光振興～』の内容を紹介する全面報告記事。
20 「京がたり」	単	2015 年 2 月 18 日	毎日新聞	四月事項の周辺の事象について話しています。
21 「ふるさと」	単	2015 年 2 月 19 日	読売新聞	京都について語っています。
22 「私と外国語」	単	2015 年 05 月号	Harmony	スリランカについて語っています。
23 「ニッポンの魅力」	単	2015 年 06 月号	あんしんLife	日本の素晴らしさについて語っています。
24 「日本と母国の懸け橋に」	単	2015 年 07 月 (創刊号)	留学生のための就職・進学支援ジャーナル	日本の魅力について語っています。
25. 「一語一会」	単	2016 年 5 月 12 日	朝日新聞	留学生に対して先輩の立場で助言している。
26. 「持続可能性のある社会を目指して」	単	2017 年 4 月 11 日	大学新聞	母からの言葉「あなたは絶対大丈夫」 大学新聞 142 号にて、教育を中心とした日本の未来について話をした。
27. 「普通の家庭なのに」	単	2018 年 04 月 03 日	月間御堂さん	
28. 「スリランカ出身にしやんた氏が参議院選挙に」	単	2019 年 01 月 08 日	日刊スポーツ	スリランカ出身にしやんた氏が参議院選挙に涙の出馬表明

29.「国民は大阪にタレント参院選」	単	2019年01月09日	朝日新聞	参議院出馬について
30.「日本国籍がなく、消防団に入れず」	単	2019年01月31日	FLASH (光文社)	「日本国籍がなく、消防団に入れずにしゃんた」が語る移民問題」
31. (HUFFPOST)	単	2015年09月07日	朝日新聞	東アジア連帯、愛によってのみ
32. 天声人語	単	2015年11月30日	朝日新聞	共生ではだめで共笑が大切である。
33. 関西遺産	単	2016年10月23日	朝日新聞	勝手に関西遺産ハングリーなホットスポット
34. 記者有論	単	2016年11月11日	朝日新聞	比実習生の過労死認定格差が生む不幸なくせ
35. (HUFFPOST)	単	2017年9月26日	朝日新聞	外国人観光客住民、摩擦を防げ
36. 古都ものがたり	単	2018年5月31日	朝日新聞	にしゃんと北京料理」違いを強みに、共に笑える社会へ
37. (HUFFPOST)	単	2018年07月10日	朝日新聞	日本語る「外国人」は多様化

書評 『日本で知った「幸せ」の値段』	単	2012年10月07日 2012年10月07日 2012年11月01日 2012年10月05日	「朝日新聞」 「京都新聞」 「ダ・ヴィンチ」 「SANSAN」	自著『日本で知った「幸せ」の値段』の書評が「朝日新聞」、「京都新聞」「ダ・ヴィンチ」「SANSAN」などの媒体で紹介された。
(ニュース執筆) 1. 「電車に乗って国境を越える楽しさ」	単	2014年02月12日	Yahoo! ニュース	日本にいながら世界旅行がいとも簡単に出来る。本来なら時間をかけ、チケット、ビザ代を払い、旅行ケースを引きずり、飛行機に乗り、面倒な入国審査を受けてやっと外国に入れるのだと冷静に考えるとぞっとする。
2. 「日本、片目つぶりのpm2.5 批判」	単	2014年02月28日	Yahoo! ニュース	中国で深刻な大気汚染をもたらしているpm2.5。関連ニュースが連日のように見聞きするようになった。今や、人、物、金が国境を超えるグローバル時代と言うが、空気は最初から最後までグローバル化している。
3. 「ジャパニーズ オンリー!(Japanese Only!)繰り返さないために。」	単	2014年03月19日	Yahoo! ニュース	浦和レッズの試合会場の差別、排除主義を助長する「ジャパニーズ・オンリー(Japanese Only)」垂れ幕が話題になっている。より正確な表現をすれば、珍しく話題になっている…

4.	「あなた は、ジャパニーズ オンリーを 見分けられますか!？」	単	2014年03月24日	Yahoo! ニュー ス	日本では無意識に「日本人」対「外国人」という 区別が出来ている。その前提があるからこそ 「ジャパニーズ・オンリー」たる言葉がこの社会 で存在しているのである。
5.	「忘れて はならない! JR ジャヤワルダ ナ大統領、日本への本当の願い (サンフランシスコ講和記念日 によせて)」	単	2014年04月28日	Yahoo! ニュー ス	2014年4月28日、日本は62回目のサンフラン シスコ講和記念日を迎えます。サンフランシスコ 講和会議で戦後の日本の真の自由の独立の支持を 訴えた立役者の日本への本当の思いとは何かを考 えたいと思います。
6.	「日本、国 家としての記念日は、思いやり をもって一つになってこそ! サ ンフランシスコ講和会議、複眼的 考察。」	単	2014年04月29日	Yahoo! ニュー ス	国民が一丸となり国の記念日を祝う日があっても 良い。そんな中、日本の「主権回復の記念日」の 話が上がっている。国が考えている4月28日が それにふさわしいのかをここで考えたい。
7.	「インド が変わる、世界が変わる!」	単	2014年05月30日	Yahoo! ニュー ス	「インドが変わる! 世界が変わる!」在日インド人 の友人が私の顔を見るなり、手を振りながら大き な声で、唐突にそう叫んだ。顔が何とも嬉しそう だった。今世界の目がインドに一極集中してい る。
8.	「インド が変わる。モディが帰る!？」	単	2014年05月30日	Yahoo! ニュー ス	インドでは新首相の誕生と祝う、在インド人コミ ュニティー。こちらで新首相への期待について話 を聞いた。インドが世界一に向けですでに走り出 している。近未来世界の中のインドについて考え てみる
9.	「最後だ けではない。最初から 「金目」です!」	単	2014年06月25日	Yahoo! ニュー ス	石原環境相の東京電力福島電力第一原発の除染に 伴う中間貯蔵施設をめぐる「最後は金目でしょ う」の発言。今回の問題解決の方法として仮に 「金目」が上がっているとしよう。さてそれのど こが問題なのかを問いたい。

10. 「多死社 会日本、後始末に関する提案— スリランカからのことづけ。」	単	2014年08月12日	Yahoo! ニュー ス	「世界一の親日家」と言っても過言ではない初代 スリランカ大統領 J. R. ジャヤワルダナが自身 の死後始末についてどうあってほしいか本人の手 帳に書いてあった。その内容は多死国日本にとっ て必ず参考になる。
11. 「日本人 のあなたが外国人として逮捕さ れる日。」	単	2014年08月18日	Yahoo! ニュー ス	国際社会日本において繰り返される、出入国管理 法違反、つまり旅券不携帯容疑の罪での日本国籍 者の誤認逮捕。日本人であってもあなたの身に起 るのは明日なのかも知れません。
12. 「安倍首 相、スリランカで愛を叫ぶ! 日 本を救ったブツ	単	2014年09月05日	Yahoo! ニュー ス	安倍 総理が 6 日から 8 日にかけて南アジアを訪 問する。総理はスリランカで必ず「人は憎しみによ っては憎しみを越えられない。人はただ 愛によってのみ憎しみを越えられる」と名演説
ダの教え「憎しみは、愛によっ て消える」」	単	2014年09月07日	Yahoo! ニュー ス	をシアジア平和を呼びかける! ?
13. 「安倍首相にも教えたいス リランカは日本のお手本であ る。」	単	2014年09月07日	Yahoo! ニュー ス	日本の首相が四半世紀ぶりに訪問する、スリラン カだが、実はこの国は日本よりいろんな意味で先 を行っている。何を隠そうスリランカは日本にと って「多様性活用」について学ぶ格好の教科書で ある。
14. 「アジア最大 スリランカ のペラヘラ祭りへの誘い。」	単	2014年09月07日	Yahoo! ニュー ス	本はまだまだ何かと賑やかな季節である。そんな 中、私はこの夏、最大親日国スリランカで開催さ れるアジア三大祭の一つに数えられる「ペラヘラ 祭」を見に向かった。行くべし。早速人生ドゥー リストに加えましょう。
15. 「ジャパ ナ (日本人) ノパナ (優秀) — 南アジアから今の日本を見る —」	単	2014年09月23日	Yahoo! ニュー ス	日本の首相として 24 年ぶりに安倍首相がスリラ ンカを訪問した。首相は、スリランカ人には 「日本人は優秀だ」と、日本人には「真珠の首飾 りにくさび」と伝えた。はたしてそうなのか現地 資料と照らし合わせ考えたい。

16.	「アントニオ猪木に喝を入れる。」	単	2014年10月02日	Yahoo! ニュース	「アントニオ猪木議員がスリランカをバカにしている」との噂が流れており、どうやらツイッターでの発言が原因のよう。ことの真相を探るべく彼のツイッターを覗き見ることに。本当に馬鹿にしていたのは日本人のこと。
17.	「日本の接客は世界遺産である。」	単	2014年10月04日	Yahoo! ニュース	最近、日本人の接客について思うことがある。改札を通る時に「おはようございます」とか「有難うございます」とか言ってくれる駅員がいる。すごく良い。爽やかな気持ちになれる。マニュアルでも、無意識でも良い。
18.	「安倍内閣、女性輝く社会無理」	単	2014年10月09日	Yahoo! ニュース	女性の活用は、社会の閉塞感を打ち破る大きな原動力となると、過去最多の女性閣僚を引き連れスタートした安倍新内閣。「女性が輝く社会」を掲げたことを「見える化」した女性閣僚だが
19.	「京都人に学び女性力を活かす。」	単	2014年10月20日	Yahoo! ニュース	日本における女性活用をあたかもこの国のかつて例の見ない新しい転換として捉えられていることに違和感を覚える。女性の力に助けら
20.	「女性より先に猿が輝く国 日本。」	単	2014年10月21日	Yahoo! ニュース	れた歴史も数々あるのだと知り、共有することも女性が輝く社会づくりにつながる。
21.	「アレオレ詐欺の次は「オレガイコクジン」-外国人」を悪用する「不良日本人」	単	2014年10月27日	Yahoo! ニュース	日本の人間社会が、思い込み、偏見、決め付け、過信、無関心に浸っている場合ではない。諸外国だけではなく、このままだと、日本の女性活用の実現はこの国の猿にも追い越されかねない。
					またもや日本人が外国人として誤認逮捕された。これは、良心な日本人が逮捕されたわけではない。不良日本人が、悪事を働いたあげく「外国人」として成りすましたのである。今回の事件を通して今の日本を見る。

22. 「新聞奨学生って知っていますか？」	単	2014年11月03日	Yahoo! ニュース	世界のどこを探しても存在しない苦学生の味方「新聞奨学生制度」。今年で、「新聞奨学生誕生50周年」を迎える。貧富の格差が広がり、経済的な理由で勉強を断念する若者。あなたは「新聞奨学生」っていますか。
23. 「京都の紅葉を何倍も楽しむためには」	単	2014年11月23日	Yahoo! ニュース	京都の紅葉の穴場を紹介してほしいと無茶なことを頼まれた。応仁の乱をこの前の戦争という感覚で語る京都人からしたら「何故彼方が語る？」となるに違いないが一応この土地で26年間住む者期待に答えようと試たい。
24. 「多数派ボケ国家日本への託」	単	2014年12月07日	Yahoo! ニュース	親日国家としても確かな歴史を刻んでいる国スリランカ。実は自他共に認める多文化・多宗教・多言語国家である。その国から日本に伝えたい最も大事なことづけがある。
25. 「クリスマスの本場日本ってことで」	単	2014年12月25日	Yahoo! ニュース	幸せにクリスマスを祝っている日本は今年も健在である。少し困った話しを耳にする。外国からの「日本のクリスマスは変だ」の声である。日本人は自信をなくすことは全くない。これだけで良いのだ。
26. リセット・スリランカ 光り輝	単	2015年01月11日	Yahoo! ニュース	1月8日。スリランカの歴史が動いた。国民投票により新大統領が誕生したのである。一般の国民の声を元に今回の新大統領の誕生に至っ
く島、再び! (スリランカ大統領選を終えて)				た経緯および今後のスリランカ国内外おける関係について希望的観測を見出したい
27. 阪神・淡路大震災から日本が得たもの～「ボランティア」と「多文化共生」の誕生日としての1.17	単	2015年01月18日	Yahoo! ニュース	今年で20年を迎える阪神淡路大震災が私たちから多くを奪い去った。しかし多くを私たちにもたらしてくれた。失った者へのせめてもの報いとしてもその日に芽が出た小さな苗を国民全員で大木に育てて行く必要がある

28. 「非暴力、不服従」と「ジャーナリスト後藤健二」	単	2015年02月06日	Yahoo! ニュース	日本人ジャーナリスト後藤健二さんが殺害されたとの報道に胸が引き裂かれた。日本人の人質に関する情報を見ながら彼らが無事で帰国することを祈った国民にとってその結末は余りにも受け入れがたいものだった。
29. 「京都最大の裏表を暴こう—観光地としては一流だが、地域住民・子育て世代にとっては三流である」	単	2015年03月10日	Yahoo! ニュース	全国の駅でよく見かけるポスターに、京都の文化財などを写した写真の上に大文字で「日本に、京都があってよかった」と書かたものがある。京都を表現するにほほどじっくりきているのか長年この文句は使われている。
30. 「大人は嘘つきか? 忘れていただけか?」	単	2015年03月18日	Yahoo! ニュース	先日「生活発表会」を見せてもらう機会に恵まれた。園児たちは可愛いらしい。しかし、それだけではない。演技力も歌も上手い。歌のセレクション、歌詞もなかなか良い。
31. 「共生」で満足せず、共笑（ともえ）」を目指そう!	単	2015年04月26日	Yahoo! ニュース	最も大事なものは、共に笑っている「共笑（ともえ）」がそこにあるかを絶えず意識し、確認し、努力し続ける必要がある。共笑は言わずして結果ではなく絶えず続けなければならない人間としての成長過程である。
32. 「21世紀の人権を再定義する。」	単	2015年04月27日	Yahoo! ニュース	人権も「三方よし」でなくてはならない。「手前よし」、「相手よし」、世間よし」である必要がある。その組み合わせで初めて人権も持続可能になっていく。人権は自分のためであるという発想はもっとも大事である。
33. 「日本に必要なのは、「割り算ではなく、掛け算の発想である。」	単	2015年05月01日	Yahoo! ニュース	2015年ミス・ユニバース日本代表に、笑顔が美しい宮本エリアナさん（20歳）が選ばれた。毎年、世界大会に向けて選出されるミス・ユニバース日本代表が話題になるが、その内容が例年とは少し違うようである。
34. 34. 「ビッグデータ活用について桃太郎から	単	2015年05月22日	Yahoo! ニュース	岡山から「つぶやき最多「桃太郎」…県期待の施策関連ゼロ」(5月17日)というニュースが

のことづけ				舞い込んできた。内容をかいつまむと、岡山県でビッグデータを活用して戦略を考えようと分析した結果、「桃太郎」が、...
35. 35. 「日本に「外国人」いない。」	単	2015年06月27日	Yahoo! ニュース	「外国人」は日本の社会にある、最も無神経で最も人を傷つける言葉である。国際社会における日本人の後進性を曝け出していることを恥 ずべき言葉でもある。日本にはもう「外国人」いない。さようなら「外国人」。

36. 38. 「神の国」と「オリンピック」—新国立競技場問題の本当の責任者について」	単	2015年07月26日	Yahoo! ニュース	2020年東京オリンピックのメイン会場となる新国立競技場の建設にかかる金額の大幅増が大問題となった。今回の件の責任がどこにあるのか。JOC か? 東京都か? 国か? それとも神か?
37. 39. 「インバウンドで我が街を盛り上げたい全ての自治体も参考になる京都が世界の観光地であり続けるための条件」	単	2015年08月25日	Yahoo! ニュース	2015年の世界の人気観光都市ランキングで、京都市が昨年に続き2年連続で世界1位に選ばれた。京都は世界一であり続けるための、全国の自治体が観光客誘致で町おこしをしていくための提案。
38. モハメド・アリの死を悼み、「恨みも憎しみも殺す理由もない」という生き方を選ぶ。	単	2016年06月05日	Yahoo! ニュース	誰かに「戦え」と言われたら「彼らに何の恨みも憎しみも、殺す理由もない」と民衆が互いに口にするまで成長することこそが我々に求められている。モハメド・アリ氏のご冥福を心よりお祈りする。
39. 日本の相撲「日本」と「外国」を越える次の一手に期待	単	2016年01月27日	Yahoo! ニュース	相撲界におけるこのような盛り上がりは久しぶりである。それもそのはず、日本生まれの力士が優勝を果たしたのは、実に10年ぶり、2006年の初場所の大関栃東以来となると嬉しくなる日本人の気持ちも理解できる。
40. 日ハム、アイヌに対する不配慮、空港バナーだけではない。「イランカラブテ」を流行らそう!	単	2015年11月13日	Yahoo! ニュース	日ハムのアイヌに対する不配慮が問題視された。ダイバーシティ アンド インクルージョン は、我々に強さだけでなく、優しさももたらせてくれる。アイヌは、日本に強さ、優しさ、しなやかさ、美しさをもたらせる。
41. 日本ラグビー、指を見ないで、月を見よう!	単	2015年11月08日	Yahoo! ニュース	今回のラグビーを通して日本が勝ち取った栄光はラグビーだけにとどめることなく、「All for one, One for all」が各々が属している空間において試みる時代に私たちが生きている。
42. 「踊らな損々…」となった日本のハロウィンを思う	単	2015年10月31日	Yahoo! ニュース	異様とも思える、2015年の日本のハロウィン。メディアも完全にハロウィンにジャック。農耕民族日本人のDNA が呼び覚まされたか、それ

				とも山積みになっている国会・政治から国民の意識を逸らすための陰謀なのか?
43. 「良い日本人」に「悪い日本人」という常識について考える。	単	2015年9月27日	Yahoo! ニュース	「日本の報道を注意深く観察すると、「良いことは日本人」に「悪いことは非日本人」という、単純なロジックの上で成り立っていることに気づく。メディアにおける多数派本位の報道を問う。

44. 「憎しみの連鎖を断とう」を終戦 70 周年の合言葉に – J.R.ジャヤワルダナ演説(9 月 6 日) を記念して	単	2015 年 09 月 06 日	Yahoo! ニュース	「憎しみは憎しみによってではなく、ただ愛によってのみ消える。」を日本の終戦 70 周年の合言葉に掲げよう。理想論に過ぎないと笑うものもあるだろ。理想論とは思わない。しかも理想を語らずして何を語ろうか。
45. 移民受け入れと多文化 共生を分けて考えたい。	単	2017 年 02 月 25 日	Yahoo! ニュース	移民受け入れの議論は、「反対」か「賛成」かに分かれる。そして「移民受け入れ」と「多文化共生」をセットにして扱われている。「移民受け入れ反対」と「多文化共生は賛成」という第三の考え方もあることを知りたい。
46. 塾よりも、習い事よりも大切なこと。	単	2016 年 12 月 31 日	Yahoo! ニュース	酉年は、酉と取りをかけて「取り込む」商売は繁盛する年と言われる。2017 年に期待を寄せたい。武器商人の商売に繁盛に取り込まれることなく、むしろ 2016 年の「悪しき空気」を取り払うことを期待したい。
47. 社会的質のパロメーターとしての血液循環。「たかが献血、されど献血」。	単	2016 年 10 月 04 日	Yahoo! ニュース	インバウンドは盛んである。道を歩いていても、公共交通を利用していても、ホテルを利用しても、アミューズメントパークに遊びに行っても、そのことを実感する。海外からの観光客を見ない日はない。
48. 白と黒とグレー。ブラックフェイス論争のこの先	単	2016 年 09 月 17 日	Yahoo! ニュース	「親日家」の「親日度」をはかることは難しい。しかし「世界一の親日家」は明確である。「世界一」は、我々が日常で「親日家」と表現している人からは軽く群を抜き、別次元として存在している。
49. これが惜しい、日本の成人式	単	2016 年 09 月 16 日	Yahoo! ニュース	運舫バッシングの根底には日本国民が二大政党制を望まないという気持ちがあるということが垣間見る。単一性にしか美徳を抱けず、現状維持バイアスに取りつかれた社会全体としての問題こそが日本の最大の問題である。
50. LA、重なる UFO 騒動と日本と北朝鮮	単	2017 年 12 月 27 日	Yahoo! ニュース	2017 年12 月22 日の17:30 時(アメリカ時間)に LA の夜空に現れた謎の飛行物体。たまたま現地にはいた私は、見晴らしの良いサンタモニカのビーチでその姿を捉えた。
51. LA (ロサンゼルス) ・サンタモニカの夜空に現れた UFO を超える不思議な物体 (動画付き)	単	2017 年 12 月 27 日	Yahoo! ニュース	LA (ロサンゼルス) ・サンタモニカ・ベニスビーチの夜空に突如現れた光を放つ小さな物体。その光がやがてまるで生き物のような姿に形を変えて大空を舞った。

52. 12月、人権月間。「差別に対する代償」と「包摂に対するご褒美」としての人権	単	2016年08月29日	Yahoo! ニュース	オリンピックは、大会そのものにおける多様性の受容にかぎらず、東京全体、日本全体の多様性の受容を実現できるきっかけにする必要がある。2020年東京オリンピック、パラリンピックまで後4年しかない。
53. お坊さんだけが知っている、12月8日の秘密	単	2016年06月05日	Yahoo! ニュース	誰かに「戦え」と言われたら「彼らに何の恨みも憎しみも、殺す理由もない」と民衆が互いに口にするまで成長することこそが我々に求められている。モハメド・アリ氏のご冥福を心よりお祈りする。
54. 京都の中心が動く。外国人が京都を動かす。	単	2017年09月22日	Yahoo! ニュース	日本において地域活性化は大きなテーマになっている。活性化のキーワードとして3つ「若者、馬鹿者、よそ者」をよく聞く言葉である。おそらくこのキーワード3つとも網羅できている存在は「外国人」ではないか。
55. 日本人による、日本人のための、「国際」を脱した「民際国際」のススメ	単	2017年09月21日	Yahoo! ニュース	現状のままでは、長くに渡り爽やかなイメージが保たれていた国際の名が泣いてしまう。一人一人の日本人としての品格と国際を超えた民際感覚を発揮することが求められている。
56. 日本で観光客排斥がはじまる日	単	2017年09月17日	Yahoo! ニュース	日本でも観光客排斥が十分起こり得る。だが起こさせないよう、問題が起きている観光立国の先輩国や地域を反面教師にして学ぶことはできる。大事なのは国家や自治体は、住民や国民のことを第一に考えることである。
57. 笑い笑われ、落語はもはや日本の日常である。	単	2017年09月11日	Yahoo! ニュース	もったいぶらず早々に、英語教育を導入すること。これ以上和製英語を作らないこと。だけど現状も悪くはない。言葉が間違えるところには笑いがある。しばらくの間、落語的な日本の日常を楽しむ心もちたい。
58. 乗り物での「ちょっとしたこと」に癒され、跳ね返す夏の憂鬱	単	2017年08月27日	Yahoo! ニュース	残暑が厳しい日が続いている。ちょっと外に出かけるのも億劫な時期である。そんな中で、「ちょっとしたこと」が夏と人混みの憂鬱さを見事に跳ね返してくれる。だからこそ「ちょっとしたこと」を大事にしたい。
59. 地藏盆に見る、変わる京都に、変わらぬ京都	単	2017年08月21日	Yahoo! ニュース	側から見ると京都のお盆のクライマックスは大文字の送り火だと思われるが、町衆にとってはまだどこか終わりではない。地藏盆が残
				っている。

60. お盆の時期に、コテコテの 仏教国出身の人間がふと日本仏 教について考えた	単	2017年08月20日	Yahoo! ニュ ース	日本には先人に学び、今後とも外来の文化を同化 するのではなく外来文化を日本の土着の文化と、 両者とも輝き、笑えるよう融合させ進化させ、平 和で、進化し続ける世を創造する日本 人らしさを今後も発揮してもらいたい。
61. 9割の京都人も知らない京 都 --- 祇園祭の秘密	単	2017年07月22日	Yahoo! ニュ ース	7月の京都。7月1日に吉符入りから始まり、 31日の疫神社夏越祭まで、1ヶ月間かけてほぼ 毎日のように京都で祇園祭の行事が行われ る。 その中で密かに行われている9割の京都人 も知らない祇園祭の秘密。
62. インターナショナル! 「祇園祭」を深く楽しむための 誘い。	単	2017年07月17日	Yahoo! ニュ ース	京都。7月に入るとこの街のあちこちで祇園囃子 が響き渡る。コンチキチンの音色を聴き、「7月に なったな」と「祇園祭の時期が来たな」と の感じる街の人は少なくない。
63. 京都、祇園祭のきゅうり売 り少女	単	2017年07月16日	Yahoo! ニュ ース	京都はどこか日本人の心の基軸でもある。 1200年の都、日本人の憧れの地である。京都 の7月は祇園祭。中でも15日の宵々山、16日 の宵山と17日の山鉦巡行が見所である。そ こで出会った一人の胡瓜売りの少女。
64. 蓮舫民進党代表に戸籍謄本 の公表を求めることの本当の問 題	単	2017年07月13日	Yahoo! ニュ ース	民進党の蓮舫代表が戸籍謄本を公開する意向を示 したとの報道が流れた。仮に戸籍謄本の公開に至 った場合の問題は何か、とくに多文化共生の観点 での問題点について多民族共生人権 教育センターの文公輝事務局長に聞く。
65. 接客、おもてなし「ハロ ー」と「サンキュー」やめた方 が良いというこ れだけの理由	単	2017年06月30日	Yahoo! ニュ ース	相手が日本語わかってと分かるまいと関係はな い。接客に際して、「ハロー」と「サンキュー」 ではなく「こんにちは」と「有難うござい ます」を使うべきである。
66. 日本の夏 京都の夏床の夏	単	2017年06月28日	Yahoo! ニュ ース	「涼」とは三水編に京と書く。この夏、床で夕涼 みしながら今までこの街がこの川と共に歩いて きた歴史に浸るほど贅沢はあるまい。
67. 「日本に臼杵市があってよ かった～キャンディ市・臼杵市 姉妹提携50周年を記念して ～」	単	2017年06月15日	Yahoo! ニュ ース	2017年。臼杵（日本）とキャンディ（スリラ ンカ）が姉妹都市提携を結んで50才の誕生日を 迎える。この際ぜひ、両市が育んできた豊か な友好の歴史を感じ、今後に向けた多くの可能性 についてみんなで考えてたい。
68. 日本で痴漢騒動がなくな らない最大の理由は 「内向き日本人」にあり。	単	2017年06月06日	Yahoo! ニュ ース	これから先、自分が関係ないのに、他人の痴漢騒 動に巻き込まれて、電車が遅延するなどの被 害を被りたくないためにも、いつの日か自分が加 害者や被害者になりたくない為にも、現状の

				内向きな関係を卒業する必要がある
69. 「高安」はただの大関ではないー日本の分断を修復させた男としての本当の功績ー	単	2017年06月05日	Yahoo! ニュース	大横綱大鵬もダブルであった。高安大関の誕生は無邪気に心の底から相撲を楽しめる良き時代への誘いではないだろうか。「高安」はただの大関ではない。日本の分断を修復させた男としての功績をこそ注目したい。
70. 日本の八百万の神は、嘘八百か!?	単	2017年05月12日	Yahoo! ニュース	後々になり「私日本人でよかった」のモデルは実は中国国籍であったと解り、このニュースは皮肉な結末を迎えた。こうなると、逆にこのポスターを貼り続ける大らかさが神社側にあるかが試されている。
71. 昔からあった「私日本人でよかった」的なポスター	単	2017年05月11日	Yahoo! ニュース	はっきり言えることがある。もしもポスターの目的は神社本庁が言っている通りなら、ポスターとしては出来が悪すぎる。もう一つ考えられるのは、ポスター作成の本意は「祝日の国旗掲揚」ではない、ということになる。
72. 「私日本人でよかった」の真意は如何に。	単	2017年05月11日	Yahoo! ニュース	この社会にはこのポスターを見て「考えなさすぎ」と思う人もいることを知ると良い。社会が分断されず人々是一緒に考えることが大事である。最も大事な心構えは、多数派本位に偏らないことである。
73. ブッダと過ごすゴールデンウィーク	単	2017年05月05日	Yahoo! ニュース	日本の最大のおかしみは、キリスト教徒ではないのに、クリスマスを盛大に祝い、仏教徒なのに花祭りを祝わないことである。「Happy Buddha's Day!」
74. 「忖度」は悪くない。	単	2017年04月27日	Yahoo! ニュース	「忖度（そんたく）」は日本の良き文化であると言える。大事なものは、権力から遠い存在としての弱者などに対して忖度を発揮することであり、権力や暴力に対して忖度しないことである。「忖度」は悪くない。
75. 通学路が危険なのは壁だけではない。受動喫煙もだ。	単	2018年06月24日	Yahoo! ニュース	実は安全・安心な登下校を脅かしているもう一つの要因は受動喫煙である。
76. あえて物申す! 喫煙(者)を「差別」すべきである。	単	2018年06月24日	Yahoo! ニュース	あえて言うなら喫煙(者)を差別すべきである。逆にいうと未だ差別していないことが問題である。

77. 日本から「外国人」がいなくなる日	単	2018年06月29日	Yahoo! ニュース	在日の外国出身者も増え、長期滞在化し、ダブルも増えている。メディアにおいて国旗をつけることなく、外国出身者が元からの日本人と同列に並んで日本のことを考える時代が来ているような気がする。
78. LGBT の生産性と日本の政治	単	2018年07月28日	Yahoo! ニュース	「過去の雛形に縛られ、人権や多様性を軽視する自民党」対「多様性や人権尊重し、違いを力に変える野党」という対立軸が浮かび上がってくる。『人権や多様性』すでに日本の選挙の立派な争点になっている。
79. 参議院—多様性の包摂による良識の府の再生に思いを馳せる	単	2019年09月09日	Yahoo! ニュース	良識の府としての参議院が再生すれば日本は、今よりも強く、優しく、しなやかで、美しい、そして面白い国になるにちがいない。
80. 暴れる象と桜	単	2019年09月14日	Yahoo! ニュース	象が暴れたとのニュースが舞い込んで来た。どうやら私の故郷キャンディの話のようである。牛車に乗って象を数えながら学校に通った子供時分が懐かしい。暴れた象と日本との意外な繋がりとは。
81. 虹の国の勝利をもっとかみしめよう。	単	2019年11月9日	Yahoo! ニュース	どう転がるか予想不可能のラグビーボールも偶然に思う通りにバウンドされて手元にくることがある。そんな幸運を「勝利の女神の気まぐれ」と呼ぶ。その偶然の幸運はまさに「多様性の包摂」の追求の先にこそ現れるはず
82. ネズミ、社長のスーツをかじる	単	2019年1月6日	Yahoo! ニュース	ネズミ、社長のスーツをかじる 子年、各々として、そして国家としてなど、あらゆる立場で常に世の中の悪循環に加担することなく、好循環を意識して丁寧に生きていく一年にする必要があるのではなかろうか。
83.				
84. LGBT の生産性と日本の政治	単	2018年7月30日	ハフィントンポスト	LGBTに限らず『多様性や人権』は、日に日に日本の選挙においても立派な争点の一つになってきていることは間違いないようである。
85. 「移民受け入れ」と「多文化共生」をあえて分けて考えたい。	単	2018年07月28日	ハフィントンポスト	有耶無耶になっている責任の所在などを明確にするためでもある。

86. 日本から「外国人」がいなくなる日	単	2018年07月03日	ハフィントンポスト	国旗をつけることなく、外国出身者が元からの日本人と同列に並んで日本のことを考える時代が来ているような気がする。
87. 日本から「外国人」がいなくなる日	単	2018年07月03日	ハフィントンポスト	国旗をつけることなく、外国出身者が元からの日本人と同列に並んで日本のことを考える時代が来ているような気がする。
88. 通学路が危険なのは壁	単	2018年06月27日	ハフィントン	通学路における喫煙所の速やかな撤去を求め

だけではない。受動喫煙もだ。			ンポスト	たい。
89. あえて物申す！ 喫煙(者)を「差別」すべきである。	単	2018年06月25日	ハフィントンポスト	一般的に言われている差別と喫煙に対して求められる差別には大きな違いがある。
90. 京都の中心が動く。外国人が京都を動かす。	単	2017年9月22日	ハフィントンポスト	日本において地域活性化は大きなテーマになっている。活性化のキーワードとして3つ「若者、馬鹿者、よそ者」をよく聞く言葉である。おそらくこのキーワード3つとも網羅できている存在は「外国人」ではないか。
91. 日本人による、日本人のための、日本人本位の「国際」を脱した「民際的国際」のススメ	単	2017年9月21日	ハフィントンポスト	現状のままでは、長くに渡り爽やかなイメージが保たれていた国際の名が泣いてしまう。一人一人の日本人としての品格と国際を超えた民際感覚を発揮することが求められている。
92. 日本で観光客排斥がはじまる日	単	2017年9月17日	ハフィントンポスト	日本でも観光客排斥が十分起こり得る。だが起こさせないように、問題が起きている観光立国の先輩国や地域を反面教師にして学ぶことはできる。大事なのは国家や自治体は、住民や国民のことを第一に考えることである。
93. 笑い笑われ、落語はもはや日本の日常である。	単	2017年9月11日	ハフィントンポスト	もったいぶらず早々に、英語教育を導入すること。これ以上和製英語を作らないこと。だけど現状も悪くはない。言葉が間違えるところには笑いがある。しばらくの間、落語的な日本の日常を楽しむ心もちたい。
94. 乗り物での「ちょっとしたこと」に癒され、跳ね返す夏の憂鬱	単	2017年8月27日	ハフィントンポスト	残暑が厳しい日が続いている。ちょっと外に出かけるのも億劫な時期である。そんな中で、「ちょっとしたこと」が夏と人混みの憂鬱さを見事に跳ね返してくれる。だからこそ「ちょっとしたこと」を大事にしたい。
95. 地藏盆に見る、変わる京都に、変わらぬ京都	単	2017年8月21日	ハフィントンポスト	側から見ると京都のお盆のクライマックスは大文字の送り火だと思われるが、町衆にとってはまだどこか終わりではない。地藏盆が残っている。

96. お盆の時期に、コテコテの 仏教国出身の人間がふと日本仏 教について考えた	単	2017年8月20日	ハフィントンポ スト	日本には先人に学び、今後とも外来の文化を同化 するのではなく外来文化を日本の土着の文化と、 両者とも輝き、笑えるよう融合させ進化させ、平 和で、進化し続ける世を創造する日本 人らしさを今後も発揮してもらいたい。
97. 9割の京都人も知らない京 都 --- 祇園祭の秘密	単	2017年7月22日	ハフィントンポ スト	7月の京都。7月1日に吉符入りから始まり、 31日の疫神社夏越祭まで、1ヶ月間かけてほぼ 毎日のように京都で祇園祭の行事が行われ

				る。その中で密かに行われている9割の京都人も 知らない祇園祭の秘密。
98. インターナショナル！ 「祇園祭」を深く楽しむための 誘い。	単	2017年7月17日	ハフィントンポ スト	京都。7月に入るとこの街のあちこちで祇園囃子 が響き渡る。コンチキチンの音色を聴き、「7月に なったな」と「祇園祭の時期が来たな」と の感じる街の人は少なくない。
99. 京都、祇園祭のきゅうり売 り少女	単	2017年7月16日	ハフィントンポ スト	京都はどこか日本人の心の基軸でもある。 1200年の都、日本人の憧れの地である。京都 の7月は祇園祭。中でも15日の宵々山、16日 の宵山と17日の山鉦巡行が見所である。そ こで出会った一人の胡瓜売りの少女。
100. 蓮舫民進党代表に戸籍謄本 の公表を求めることの本当の問 題	単	2017年7月13日	ハフィントンポ スト	民進党の蓮舫代表が戸籍謄本を公開する意向を示 したとの報道が流れた。仮に戸籍謄本の公開に至 った場合の問題は何か、とくに多文化共生の観点 での問題点について多民族共生人権 教育センターの文公輝事務局長に聞く。
101. 接客、おもてなし「ハロ ー」と「サンキュー」やめた方 が良いというこ れだけの理由	単	2017年6月30日	ハフィントンポ スト	相手が日本語わかってと分かるまいと関係はな い。接客に際して、「ハロー」と「サンキュー」 ではなく「こんにちは」と「有難うござい ます」を使うべきである。
102. 日本の夏 京都の夏床の夏	単	2017年6月28日	ハフィントンポ スト	「涼」とは三水編に京と書く。この夏、床で夕涼 みしながら今までこの街がこの川と共に歩 んで来た歴史に浸るほど贅沢はあるまい。
103. 「日本に臼杵市があつてよ かった～キャンディ市・臼杵市 姉妹提携 50周年を記念して ～」	単	2017年6月15日	ハフィントンポ スト	2017年。臼杵（日本）とキャンディ（スリラ ンカ）が姉妹都市提携を結んで50才の誕生日を 迎える。この際ぜひ、両市が育んできた豊かな友 好の歴史を感じ、今後に向けた多くの可能 性についてみんなで考えてたい。

104. 日本で痴漢騒動がなくな ない最大の理由は 「内向き日本人」にあり。	単	2017年6月6日	ハフィントンポ スト	これから先、自分が関係ないのに、他人の痴漢騒 動に巻き込まれて、電車が遅延するなどの被害を 被りたくないためにも、いつの日か自分が加害者 や被害者になりたくない為にも、現状の 内向きな関係を卒業する必要がある
105. 「高安」はただの大関では ないー日本の分断を修復させ た男としての本当の功績ー	単	2017年6月5日	ハフィントンポ スト	大横綱大鵬もダブルであった。高安大関の誕生は 無邪気に心の底から相撲を楽しめる良き時代への 誘いではないだろうか。「高安」はただの大関で はない。日本の分断を修復させた男と しての功績をこそ注目したい。
106. 日本の八百万の神は、嘘八 百か!?	単	2017年5月12日	ハフィントンポ スト	後々になり「私日本人でよかった」のモデルは 実は中国国籍であったと解り、このニュースは皮 肉な結末を迎えた。こうなると、逆にこの

				ポスターを貼り続ける大らかさが神社側にあるか が試されている。
107. 昔からあった「私日本人 でよかった」的なポスター	単	2017年5月11日	ハフィントンポ スト	はっきり言えることがある。もしもポスターの目 的は神社本庁が言っている通りなら、ポスターと しては出来が悪すぎる。もう一つ考えられるの は、ポスター作成の本意は「祝日の国旗掲 揚」ではない、ということになる。
108. 「私日本人でよかった」 の真意は如何に。	単	2017年5月11日	ハフィントンポ スト	この社会にはこのポスターを見て「考えなさず ぎ」と思う人もいることを知ると良い。社会が分 断されず人々は一緒に考えることが大事である。 最も大事な心構えは、多数派本位に偏ら ないことである。
109. ブッダと過ごすゴールデン ウィーク	単	2017年5月5日	ハフィントンポ スト	日本の最大のおかしみは、キリスト教徒ではない のに、クリスマスを盛大に祝い、仏教徒なのに花 祭りを祝わないことである。「Happy Buddha's Day!」
110. 「忖度」は悪くない。	単	2017年4月27日	ハフィントンポ スト	「忖度（そんたく）」は日本の良き文化であると 言えよう。大事なものは、権力から遠い存在とし ての弱者などに対して忖度を発揮することであり、 権力や暴力に対して忖度しないこと である。「忖度」は悪くない。
111. 塾よりも、習い事よりも大 切なこと。	単	2016年12月31日	ハフィントンポ スト	西年は、酉と取りをかけて「取り込む」商売は繁 盛する年と言われる。2017年に期待を寄せた い。武器商人の商売に繁盛に取り込まれることな く、むしろ2016年の「悪しき空気」を取 り払うことを期待したい。

112. 社会的質のバロメーターとしての血液循環。 「たかが献血、されど献血」。	単	2016年10月4日	ハフィントンポスト	インバウンドは盛んである。道を歩いている、公共交通を利用していても、ホテルを利用している、アミューズメントパークに遊びに行っても、そのことを実感する。海外からの観光客を見ない日はない。
113. 白と黒とグレー。ブラックフェイス論争のこの先	単	2016年9月17日	ハフィントンポスト	「親日家」の「親日度」をはかることは難しい。しかし「世界一の親日家」は明確である。「世界一」は、我々が日常で「親日家」と表現している人からは軽く群を抜き、別次元として存在している。
114. これが惜しい、日本の成人式	単	2016年9月16日	ハフィントンポスト	運舫バッシングの根底には日本国民が二大政党制を望まないという気持ちがあるということが垣間見る。単一性にしか美徳を抱けず、現状維持バイアスに取りつかれた社会全体としての問題こそが日本の最大の問題である。

115. 12月は、人権月間。「差別に対する代償」と「包摂に対するご褒美」としての人権	単	2016年8月29日	ハフィントンポスト	オリンピックは、大会そのものにおける多様性の受容にかぎらず、東京全体、日本全体の多様性の受容を実現できるきっかけにする必要がある。2020年東京オリンピック、パラリンピックまで後4年しかない。
116. モハメド・アリの死を悼み、「恨みも憎しみも殺す理由もない」という生き方を選ぶ。	単	2016年6月7日	ハフィントンポスト	私たちが戦うべき相手は、それぞれ自国の中に、そして個々の中にこそある。
117. お坊さんだけが知っている、12月8日の秘密	単	2016年6月5日	ハフィントンポスト	誰かに「戦え」と言われたら「彼らに何の恨みも憎しみも、殺す理由もない」と民衆が互いに口にするまで成長することこそが我々に求められている。モハメド・アリ氏のご冥福を心よりお祈りする。
118. 日本の相撲「日本」と「外国」を越える次の一手に期待	単	2016年1月27日	ハフィントンポスト	喜びたい気持ちは解るが、例えば日本の国籍を取得して角界で活躍し、日本相撲を牽引している外国にルーツのある力士らに対する配慮はどうか。
119. 「京都最大の裏表を暴こう—観光地としては一流だが、地域住民・子育て世代にとっては三流である」	単	2015年03月11日	ハフィントンポスト	京都は、観光客にとっては一流（最高）だが、地域住民・子育て環境としては三流（最低）である。

120. 「日本の接客は世界遺産である」	単	2015年03月11日	ハフィントンポスト	外国人に対しての挨拶はどうしたら良いか？答えは一つ。日本人に対してと同じ挨拶で接しましょう。
121. 「大人は嘘つきか？忘れていただけか？」	単	2015年03月18日	ハフィントンポスト	「子どものまま大きくなった人」だとか、「童心を忘れていない人」などの言葉はあるにはあるが、実際の大人は少し違う。
122. 「共生」で満足せず、伊笑（ともえ）を目指そう！	単	2015年04月26日	ハフィントンポスト	世の中にある「共生」は、基本的に、同化か、棲み分けか、排斥、排除、無視、シカトでしかない。「共生」が実際に存在していると安易に思い込んではいけません。
123. 「21世紀の人権を再定義する。」	単	2015年04月26日	ハフィントンポスト	世界人権宣言の採択から65年経つが、世界中で人権侵害は続いている。「人権」は次のステージに移行する時期を迎えているのかもしれない。
124. 「4月28日を複眼的考察する～（ウチナンチュ（沖縄）の目、外国人の	単	2015年04月30日	ハフィントンポスト	4月28日。実は、日本はその長い歴史の中で幾度となく節目たるものをこの日に迎えている。

目、スリランカ人の目)」				
125. 「日本に必要なのは、「割り算ではなく、掛け算の発想である。」	単	2015年05月01日	ハフィントンポスト	毎年、世界大会に向けて選出されるミス・ユニバース日本代表が話題になるが、その内容が例年とは少し違うようである。
126. 「ビッグデータ活用について桃太郎からのことづけ	単	2015年05月24日	ハフィントンポスト	岡山から「つぶやき最多「桃太郎」...県期待の施策関連ゼロ」というニュースが舞い込んできた。内容をかいつまむと、岡山県でビッグデータを活用して戦略を考えようと分析した結果、「桃太郎」がトップで、「岡山城」「きびだんご」とが続いたという。
127. 「日本に「外国人」いない。」	単	2015年06月28日	ハフィントンポスト	漢字と片仮名と平仮名と日本のように3種類もの言葉が同時に使われている国は珍しい。
128. 「「神の国」と「オリンピック」—新国立競技場問題の本物の責任者について—」	単	2015年07月27日	ハフィントンポスト	責任はどこにあるのか。オリンピック組織委員会か、国か、東京都か。オリンピック組織委員会の森会長の「誰にも責任はないでしょう」という発言が興味深い。

129. 「インバウンドで我が街を盛り上げたい全ての自治体も参考になる京都が世界一の観光地であり続けるための条件」	単	2015年09月02日	ハフィントンポスト	米大手旅行雑誌の人気観光都市ランキングで、京都市が2年連続で世界一に選ばれた。世界一であり続けるためには…
130. 日ハム、アイヌに対する配慮、バナーだけではない。「イランカラブテ」を流行らそう！	単	2015年11月14日	ハフィントンポスト	プロ野球球団の北海道日本ハムファイターズは、この度、新千歳空港に掲げていた広告を撤去すると発表した。
131. 日本ラグビー、指を見ないで、月を見よう	単	2015年11月8日	ハフィントンポスト	ラグビーワールドカップの日本チームの活躍をしっかり見つめることは、今後の日本社会全体の成長に当たって、かつて類を見ないような良いチャンスである。
132. 「踊らな損々…」となった日本のハロウィーンを思う	単	2015年10月31日	ハフィントンポスト	シルクロードの終着点としての日本は世界からいろんな文化を受け入れてきたが、全てがハロウィーンのように良かったかとも想像したくなる。

133. 「良い日本人」に「悪い日本人」という常識について考える	単	2015年9月27日	ハフィントンポスト	「ペルー人男性による殺人事件」の報道に対して、違和感を覚える点がいくつかある。
134. 「憎しみの連鎖を断とう」を終戦70周年の合言葉に - J.R. ジャヤワルダナ演説(9月6日)を記念して	単	2015年9月6日	ハフィントンポスト	恨み合いや憎しみ合いは、東アジアの国々が抱えている最大の不幸である。
135.				
(オピニオン- リーダー) 1. 「国政選挙とテレビメディアの在り方」	単 単	2014年12月20日	『コンパス』(フジテレビ制作する番組- 「とくだね」 「新週刊フジテレビ批評」 Mr. サンデー」などと連携)	総選挙に関わるテレビメディアについての評価を質問する前に、テレビメディアが日常の中で何をやっているか、それが放送法にも言うように民主主義の発展に資しているかを自問自答し、気づくところがあれば、反省することから始める必要がある。まずは、隗より始めよ。それが全てである。

2. 『個人情報保護法と公益性の境界線は？災害不明者指名の公表』	単	2014年09月13日	同上	法律や条例策定の際の想定のがんが露呈された。災害発生時の「行方不明者の情報」をどう扱うかの話が詰められていない。しかも災害発生後から公表するとの結論に至るまでに6日もかかった点と、さらに6日目でそれまでの見解を変更させた点、いずれにしても驚きである。
3. 『BPOが「顔なしインタビュー」に関する委員長談話を公表』	単	2014年07月05日	同上	顔出し無しは、まで通り記者の良心、倫理感に委ねて良い。BPOには、国民が最も知りたいエネルギー、憲法、安全保障、選挙、大企業の利益誘導等々、もっと大きな枠組みの題材について、メディアが倫理的に「国民の知る権利に奉仕」しているかを追及してもらいたい。
4. 「STAP細胞をめぐる一連の報道をどう見るか？」	単	2014年04月19日	同上	新しい「発見」と新しいタイプの「研究者」が掛け算され、見る側にとって夢のある話だった。読者・視聴者の反応を受けて、早稲田も理研もはしゃいだ。それが一転「？（はてな）」が付くと、手のひらを返すかのように今度は見る見る豹変する周囲。人間がもち合わせている不細
5. 『都知事選に見たテレビ報道の課題』	単	2014年02月15日	同上	工な側面を見せられ情けなかった。 都知事選の一連の報道を見ての第一印象は「東京さえ良かったらいいのだ。他のことは関係ない。」という東京都民の「東京モンロー主義」が一段と進んでいるということである。日本でたった一つの「勝ち組」。フクシマもオキナワも自分の問題とは絶対に考えない。首都機能・皇居など全てが集中しているから日中・日韓・日朝がいくら緊張しても、東京が爆撃されることはない、と信じている。

<p>6. 「秘密保全法案」～“知る権利”との両立 焦点</p>	<p>単</p>	<p>2013年09月21日</p>	<p>同上</p>	<p>「特定秘密保全法案」への道筋もまた、結論ありきで、民意が反映されたとは到底思えない、形だけのパブリックコメントもいつの間にか 済ませたそうだ。毛頭考えたはずがない「報道の自由」と「知る権利」の文脈も法案を通すための、仕方がなく後から付け足した。「秘密保全」と「知る権利」、「秘密保全」と「報道の自由」は相反する上、両立は基本的にありえない。ましては「何が特定秘密」って勝手に国家が決められるようでは両者間の力関係はあまりにもバランス悪すぎる。</p>
<p>7. 「東京五輪開催決定 メディアが果たす役割」</p>	<p>単</p>	<p>2013年09月14日</p>	<p>同上</p>	<p>現状のメディアのはしゃぎっぷりは、まるで「日本国民、みんな嬉しいだろう！」と押し付けて、強要しているにしかみえない。日本人全員が本当に嬉ですかね？何が嬉しいですかね？日本の辺境の地から見れば、むしろ他の国の街にでも開催してくれた方が、まだ移動距離的にも近かったはずです。2020年は、「東京オリンピック」であって、「日本オリンピック」ではない。</p>
<p>8. 「初の「ネット選挙」への評価とこれから」</p>	<p>単</p>	<p>2013年07月27日</p>	<p>同上</p>	<p>初めての「ネット選挙」で、政党・候補者の側も、有権者の側も、ネット活用の「ハウ・ツー」が明らかに未成熟だった。合わせて政権与党が争点を経済に絞り、政党間・候補者間の論争が全く盛り上がらなかった。というより、民主党を筆頭とする野党の埋没によって自民党の圧倒的優位がメディアにあふれる中、自民は悩ま</p>
				<p>しい、国論を二分するかも知れない、原発や憲法、東アジア外交などの争点を意図的に避けた。</p>

<p>9. 「不正アクセス禁止法違反容疑による共同・朝日記者書類送検」</p>	<p>単</p>	<p>2013年06月29日</p>	<p>同上</p>	<p>今回の記者の行動は、パソコン遠隔操作事件の重要性を認識してその真相に迫り、国民の知る権利に奉仕するのは報道機関としての言わずして当たり前の行為である。何が重要で何が問題で国民の利益のためには何が求められているのか、を理解できず、ただただ法律をしらみつぶしに読んで「罪を問う」のが捜査機関であり、権力を擁護するためには真実や国民の利益まで揉みつぶすのが権力である。</p>
<p>10. 「従軍慰安婦などに関する橋本氏の発言」</p>	<p>単</p>	<p>2013年05月16日</p>	<p>同上</p>	<p>橋下氏の口からこのような発言が出たことが不思議には思わない。むしろ、前回の衆議院ではまだ隠しいた本性が今回表に出たことが、国民にとって彼がどのような人間かを理解する上で結果的に良かった点もあろう。参議院選挙で国民がどのような思想の人間を国会に送り込むかの判断がし易くなる。</p>
<p>11. 「アベノミックスの現状とこれから」</p>	<p>単</p>	<p>2013年04月28日</p>	<p>同上</p>	<p>自民党の政策は、意地になった博打打ちの姿と重なる。派手な生活を好み、その生活がやみ付きで、後先を考えず借金繰り返し、その時さえ良く、チャホヤされることを喜び、激しく浪費し、さらに大きな借金をする。もちろん反省も感じない。自然の厳しさを知らず、冷暖房付きの部屋でぬくぬくと育ったお坊ちゃん政治家が殆どだから、冬の時期への備えなどの日本人の真面目で手堅い発想も欠落している。</p>
<p>12. 「これからの政治とソーシャルメディア」</p>	<p>単</p>	<p>2013年03月23日</p>	<p>同上</p>	<p>今まで政治に興味なかった人間がネット選挙によって興味をもつようになり、少なくとも今までそうはならず、ソーシャルメディアの普及で政治へ意識や関わり方が良い方向に変化するだろうか！？と疑ってモいる。さらに、今まで政治への意識がなかった人間で、ソーシャルメディアによって刺激され、行う意思決定に質的な特性や偏りが無いのか緊張を覚える。</p>

13. 「緊迫・朝鮮半島-どうする?北朝鮮」	単	2013年03月16日	同上	北朝鮮の基本的な外交方針、いわゆる「瀬戸際外交によるおねだり。そしてアメリカを2国間交渉のテーブルに着かせる」はこれまでとまるで変わっていないが、これまでよりは外部に対する「言い方・表現」が少しばかり過激になっている。怖いのは、長距離ミサイルと核を保有した上での「瀬戸際」の定義である。
14. 「東日本大震災から2年これからの復興を考える」	単	2013年03月09日	同上	この問の答えは、あくまでも当事者としての被災者の声全てであると考ええる。ほんの少しの間、被災地を訪れた際の見聞を申し上げることを許されるならば「順調に進んでいない」は個人の答えになる。被災地も広く、どこを見たかによって、見えてくるものも大きく違う。災害直後に仙台市内に行ったときなどは、その近くで災害が本当にあったのかと目を疑いたくなる程の日常の情景がそこにあった。
15. 「これからの働き方」	単	2013年03月02日	同上	学校を終え社会に出る人間が考えることはおそらくどの時代も同じで、安定した条件の良い就職先を見つけ、人生を謳歌したいだけ。古今の違いがあるとするならば、人間が考えることが変わってのではなく、受け皿(労働環境)が変わり、その環境とどう折り合いをつけていったら良いかを若者が一生懸命に考えた中で生まれた結果(知恵)に過ぎない。
16. 「日米首脳会談を機に考える、日米で今すべき事は?」	単	2013年02月23日	同上	日米関係にとどまらず国家間が協調して取り組むべき最大の課題は世界の、そして日本が入っている以上とくにアジア地域における平和で持続的で共に笑える国家間の良好な関係構築だろう。国家首脳同士が会談するのは、大いに結構だが、日米首脳会談の場合、訳が違うのではないか。長期にわたる自民党単独政権のもと、首相が代わると就任すぐにアメリカに行き、「ひとつよろしく」という、徳川幕府の時代の参勤交代を思い出させる、ごますりの儀式をしに今回も行くだけではないか。
17. 「PC遠隔操作事件にみ	単	2013年02月16日	同上	今回の犯行、犯人は絶対に許されるべきことではない。しかし捜査側が実社会に追いついてい

る「犯罪捜査の光と陰」				ないこと、その未熟さを見事に露呈してしまったことは恥ずべきだろう。今回は、当初捕まった人たちが誤認逮捕であることを親切に「新犯人」に教えてもらい、アナログな段階までハードルを下げて、下げて、過ぎるぐらいヒントを出した犯人の優しさに助けられた御蔭で逮捕に至ったのであって、捜査側の能力は決して褒められるようなものではない。
18. 「スポーツ指導と暴力・パワハラ」	単	2013年02月09日	同上	日本は「暴力・パワハラ」を容認し「美化」してきた。柔道に限らずこの社会が「暴力・パワハラ」に満ちていて、容認していることに気づくべきだろう。今回の報道を受けて、日本人全員がどう今後変化、進化するかこそが肝心である。
19. 「アベノミクスの今後-日本が目指すべき成長戦略とは？」	単	2013年02月02日	同上	既にプチバブル?を謳歌している人も現れているようだが、それは円安により、特に、海外ファンドや海外の投資家が勝手にひと儲けしているに過ぎず、これはハゲタカが次の旨みを見つけるまでの時限付きで、あてにははいけない。もちろん実態経済を伴っておらず、一般国民には関係もなければ、もちろん安倍効果と勘違いしている場合でもない。現状のデフレスパイラルを絶ち、円安、株高、インフレを目指し、トップダウン、つまりばらまき公共投資や企業優遇政策を打ち出しているアベノミックスだが、効果は言わずと怪しい。
20. 「アルジェリア人質事件から何を学ぶか？」	単	2013年01月26日	同上	テロリストとは交渉しない」というアルジェリア政府の姿勢は欧米各国が基本的に支持していた。多少の犠牲はやむなし、というのが世界の常識になってきている。「人命尊重の立場から人質の釈放を求めるとテロリストに呼びかけることの無意味さを日本政府以外の世界は知っている。かつて日本で、福田首相が「人命は地球よりも重い」と言って、ハイジャック犯の要求を飲んだことがある。
21. 「体罰自殺」を機に考え	単	2013年01月19日	同上	学校教育の中で、教育的指導と体罰の境目は、「学校教育法第11条」に明確に定義している

る、学校教育での生徒の導き方は？」				通りであり、「学校教育法第 11 条に規定する児童生徒の懲戒・体罰に関する考え方」に噛み砕いて書いてある通りである。
22. 「新政権がやってはならないこと」	単	2013 年 12 月 22 日	同上	新政権がやってはいけないこと？自公での議席数 2 / 3 以上という数字に甘えないこと！安心しないこと！自民の得票率、特に比例区での数字を忘れないこと！「日本を取り戻す」なんて、偉そうな事を言わないこと！安倍氏と自民党は控えめであること！安倍氏は、ここ数年の『1年で総理交代』のきっかけを作ったことを忘れないこと！政治の混迷・政治不信の発端を作ったことを忘れないこと！
23. 「どうする？インフラの老朽化」	単	2012 年 12 月 15 日	同上	この事故で亡くなられた人には誠に申し訳ないですが、この事故を契機として国は道路管理会社に命令して、古いトンネルの総点検をさせるだろう。運転免許をもっていない私は、車の助手席に座ることが多く、周りを見渡せる余裕も少しはある。新しいトンネルは広くて明るさもあって快適だが、古い高速の古いトンネルの中には、「これ、突然崩れてくるのではないだろうな」など走りながら怖いと感じのするトンネルもある。
24. 「日本の景気、回復させる方法は？」	単	2012 年 12 月 01 日	同上	お金、お金、お金・・・不景気、不景気、不景気というが、私も日本のバブルを目の当たりにした一人として今の景気は決して良いとは思わない。そんなに日本はダメなのでしょうか。GDP で中国に抜かれたと言っても人口で 10 倍以上の中国と比べること自体おかしいし、1人当たりだと、ヨーロッパの小国や中東の産油国が上を行くけど、人口が1億以上もある国では日本はアメリカについて立派に2位である。
25. 「総選挙の争点!?TPP への向き合い方は？」	単	2012.11.24	同上	私自身もあまり理解していない。新聞は時に1ページを使って解説・まとめ記事を書いているが、どれだけの人が読んでいるやら？どれだけの人が記事を読んで理解しているやら？十分、あるいは、まあ、理解しているのは、専門家・

				<p>学者・官僚・一部の政治家・TTPを担当している新聞記者、くらいしかいないでは。新聞の解説記事を読んでいるのは、そうした分野の人だけなのではないだろうか。</p>
<p>26. 「年内解散の意向」次の総選挙の争点は何？」</p>	単	2012年11月17日	同上	<p>野田総理は自民党総裁安倍に、解散という総理の伝家の宝刀を「党首会談」という衆人環視の席で「条件」を付けて突きつけた。安倍がびっくりして“しどろもどろ”になり、追求するつもりが追求される立場になっていた。解散の後の新しい総理が民主党野田氏か、自民党安倍氏か、はたまた別の党の別の男性か、どこが政権を握っても、野田民主党は安倍自民党に「国民に犠牲をしいておいて（消費税率アップ）、政治家が何の痛みを感じないでおれるのか。</p>
<p>27. 「ネット社会の進化と日本の未来」</p>	単	2012年11月03日	同上	<p>あえて言いたい。マイナスに影響している。その最大の損失は、日本の優れた人間の関係性の崩壊である。来日当初の日本が懐かしい。咳払いの音で周りが「自分のことか」と一斉に振り向いていた日本人の受信力に感動した。「1言って、10解る」日本の「受信者責任型文化」。</p> <p>「どこでもネット」は、日本人のこの「無形文化遺産」だけではなく、「現実」と「仮想現実」の区別能力すら奪い去った。</p>
<p>28. 「科学立国・日本の未来は？」</p>	単	2012年10月27日	同上	<p>今の日本の研究環境は、それなりにふさわしいのではないだろうか。アメリカ並みにと背伸びしてもほかへの影響（国家予算支出）が出てくるし、また、自然科学偏重との批判も出てくる。今の日本でも、そこそこ、今の日本なりに研究成果が上がっていると思う。ノーベル賞も、そこそこ受賞しているし、日本人ばかり、というわけにもいかないだろう。</p>
<p>29. 「国民にとって最も望ましい解散時期と解散への条件は？」</p>	単	2012年10月20日	同上	<p>衆議院の解散は、そろそろやらないと政治不信＝政治家不信が底なしになってしまう。いつ行すべきか、と問われたら、直ちに、とか、年内に、などというのは、政局しか考えていない人々であろう。来年夏の、衆・参同時に、というのも与野党の不毛の対立状況を考えれば非</p>

				<p>現実的だろう。妥当な線は、新年度予算が成立してから、だと思うが、それでは、内閣不信任案が可決されるだろう。などなど消去してくると、年明け早々、という線になる。</p>
30. 「復興予算の正しい使い方」	単	2012年10月13日	同上	<p>『復興予算はあくまでも被災地域の復興のために使われるべきもの』。当たり前です。少なくとも、被災地以外のおちこちにある、特に国の出先機関と含む官公庁の新築・改築には使うべきでない。調査捕鯨の関連にも使うべきではない。こんなことをして、小学生・中学生の「社会科」で『復興予算はこんな使われ方をしています』って説明出来ますか？</p>
31. 「自民党新総裁とこれからの自民党について」	単	2012年09月29日	同上	<p>そして、長い目で見れば、安倍総裁再登場は自民党にとっては敗北・解体への第1歩を踏み出したと言える。決選投票での逆転勝利というのを見て、安倍の母方の祖父・岸信介は自民党初代総裁鳩山一郎の後継を決める1956年の総裁選挙で1位になりながら過半数が取れず、決選投票で2・3位連合の石橋湛山に敗れた、祖父の屈辱を56ぶりに晴らしたように見えた。</p>
32. 「緊迫！日中関係-今後の対処法は？」	単	2012年09月22日	同上	<p>質問について「これまで」が、①1972年の国交正常化以降なのか、②1945年の日本の敗戦＝中国からの軍事撤退、以降なのか、③、明治維新以降（日清戦争や中国を戦場にしたり日露戦争、さらに15年に及ぶ日中戦争を含めて）なのかによって評価も変わってくる（遣唐使やら鑑真和尚苦難の訪日、などという時代もあった）。おそらく、設問は、1972年以降の41年を指していると思われるが、「まあ、良かったと思う」。</p>
33. 「民主党代表選、自民党総裁選にもの申す！」	単	2012年09月15日	同上	<p>一国の総理「候補」を『国民的人気』を重視して選ぶのがばかばかしいほど恐ろしいのと同様に、行政経験だけを重視して選ぶのもばかばかしいほど恐ろしい。総理大臣はもちろん、総理大臣候補も、1から5までを兼ね備えた人物であるべきだ。当たり前のことである。国民的人気は、1から5までがあれば、おのずと後か</p>

34.「日本に国会議員って何人必要？」	単	2012年09月01日	同上	ら付いてくる。 「0増5減」や「比例定数40削減」まではまだ、理解は出来る。しかし「議員半減」の話は、政治家はしない。政局家が言うことである。そもそも政治家の数の多い、少ないかは、本質抜きの議論になってしまう。議論すべきは、政策であり、政治家の質である。
35.「「領土問題から考える日本の国際社会での影響力」	単	2012年08月25日	同上	影響力の低下があるならば、それは、日本の背後のアメリカの相対的な影響力低下であろう。 『日本の信用』は依然として変わらない。いずれにせよ、影響力のあるなしで他国の領土や海域の侵略は断じて許されべからず。
36.「これからの休暇と日本社会」	単	2012年08月18日	同上	日本の組織における「休むのは罪悪」という日本特有の意識の残像と、「休むヤツは評価を下げるぞ」という文化を引継ぐ古いタイプの支配層の存在。今後の日本に思いを馳せた場合、この伝統は「百害あって一利なし。」百害は変わらないが、メリットがあっても、精々一利程度。変わる方向にあることは間違いない。
37.「ここがおかしい日本の政治！-望ましい政権の形は？」	単	2012年08月11日	同上	政治と民意の乖離は、「『政治は最高の道徳なり』を身につけた政治家が国会に溢れるほどいて、国民生活・国家に必要な政策を次々と立案・成立させるけど、その存在があまりに大きすぎて（立派すぎて）、民意が敬遠するほどの存在になってしまっているような時にも起こる」が、当然ながらその真逆の状況でも乖離は起こる。今の日本はどう？
38.「ロンドンオリンピックから考えること」	単	2012年08月04日	同上	「感動」したいですかね。でも今のところ、もっぱら「酒の肴」ですね。言っても祭り事ですから、踊らせるアホや踊るアホもいる中の「見てるアホ」ってとことでしょうか。まあ、気軽にやっています。だけど、「ゼッケン67」のような話って、今後起きなかつたら淋しいですね。
39.「「国会前デモ」をどう	単	2012年07月28日	同上	日本の政治、ネットがこれほど普及した現在で

考える？」				は『声ある声』を無視することはできない。過去、数十年、政治的無関心の度合いがいささか強すぎた日本に、自分たちで直接、政治を監視していこう。選挙で、だけでなく、大事なことは政府に、直接訴えていこうという動きが定着したら、ガラス張りの政治が実現するかも知れない。
40. 「九州北部豪雨」から考える、これからの「豪雨対策」」	単	2012年07月21日	同上	「心」「制度」と「ことば」の3つの壁を知り、改善する必要性。「心」とは、思い込み、偏見、決め付け、過剰なこだわり、過信、無関心、油断や慣れであり、「制度」とは現状の法律、条例、システム、ルール、常識である。「ことば」とは、言葉そのものであり、情報、コミュニケーションや関わりである。
41. 「いじめ自殺をなくすために何が出来る？そして、公教育のあり方とは？」	単	2012年07月14日	同上	担い手は、現実的・短期的には「学校（教育）」、そして教育委員会である。「家庭教育」や「社会教育」そのもの及び互いの連携が機能しない現状において、一先ず、学校教育、または学校を中心として担う体制を拵えることが適当である。
42. 「政界再編！次の政治の担い手に何が求められるか？」	単	2012年07月07日	同上	「最近我慢できない日本の子供が多い」と聞かすが、大人も同じである。日本人に必要なのは忍耐である。次から次に新しいものに目移りし、ころころ政治勢力を変える日本国民こそが最大の問題である。新しい政治勢力に、いきなり国の政治を任せるのはあまりにも冒険過ぎる。彼らには一先ず国政での経験を積んでいただく必要があり、その間に我々国民は彼らを研究する必要がある。彼らに期待するか否かはその後にも十分間に合う。
43. 「どうあるべき？これからの“電気”と日本人の生活」	単	2012年06月30日	同上	今までの電力供給は結局のところ、電力会社が儲かるようになっていた。再生可能エネルギーも同じ構図ではいけない。電気なんて、誰かが儲かるためのものじゃないはず。だからこそ、電力会社は「公共性・公益性」を求めたられてきた。 日本におけるエネルギーにあり方に改めて公

<p>44.「どう思いますか？小沢氏のこれから」</p>	<p>単</p>	<p>2012年06月23日</p>	<p>同上</p>	<p>共性を求めたい。この時代、公共性を言うのは時代遅れ！？</p> <p>小沢一郎氏には出来るだけ長く政界に留まって頂くこと。時代遅れの政治家のサンプルとして、そしてこれから政治家を志す政治家の反面教師としての役割が大きい。もう一つある。それは、私たちが政治家の甘い言葉にたまされ続けてたという事、振り回されていた事を思い出すためである。</p>
<p>45.「どう評価する？「野田首相のリーダーシップ」と「一体改革修正協議の合意内容」</p>	<p>単</p>	<p>2012年06月23日</p>	<p>同上</p>	<p>多くの人が嫌うことでも、将来・未来のためには、やらなければいけないこともある。それを説明して、やり遂げるのがリーダーである。野田総理がそれをやろうとしている。そのやり方が「和をもって尊しとなす」という日本の強みを大事にしている点も高く評価したい。</p>
<p>46.「こうなったのはなぜ！？「決められないニッポンの政治」を打破せよ！」</p>	<p>単</p>	<p>2012年06月02日</p>	<p>同上</p>	<p>争いをケガレと考え、和を重んじ、調和をはかれる事を美德としてきた日本人。素晴らしい事でもあるが、反面何かを決断し、行動するときには負の要素に変わる。何かを決断しようとするれば、多かれ少なかれ反対勢力は生まれ、争いが生まれる。政治家に信念がないのではなく、和こそ彼らの理想だからである。その結果、前例主義者や話し合い至上主義者を生んでいる。</p>
<p>47.「返還40年、置き去りにされた「沖縄」を考える。」</p>	<p>単</p>	<p>2012.05.26</p>	<p>同上</p>	<p>沖縄に対する差別である。その最大の要因は、今の「日本人」を象徴する特徴である「総論賛成・各論反対」。もう一つは「イクセプト・ミー・イズム」である。この設問に答えるまでの論議を尽くすことこそが、最も大切である。</p>
<p>48.「どう向き合うべきか？「生涯未婚率」男性2割女性1割の“衝撃”」</p>	<p>単</p>	<p>2012年05月12日</p>	<p>同上</p>	<p>婚・晩婚化の最大の原因は、基本的に社会の成熟ということであろう。その成熟した社会をどう評価するかについては論が分かれる（個人差ある）と考えられる。日本の若人が、数ある選択肢の一つに非婚・晩婚を選んでいるならば、豊かさを謳歌している証であり、唯一の選択肢として消去法で非婚・晩婚を選んだならば、貧しくなったことになる。</p>

49.「どうなる？どうする？-就活・雇用のこれから。」	単	2012年05月05日	同上	早い時期に、自分の強みや、一生懸命になれることを見つけること。希望する会社を研究し、会社の使命に沿って、自分の強みをいかに役立つかをすり合わせて説明できる力が求められる。希望する会社も国内のものに留める必要も無い。
50.「原発再稼働！する？しない？再稼働は一体、誰が決めるべきなのか？」	単	2012年04月28日	同上	専門家ではない立場での発言であるが「拙速」とあるという一般論を否定することはできない。なぜなら、残念ながら自分たちの力で原子力や核廃棄物をコントロール出来ない我々人類は原子力をエネルギー源として利用できるレベルに科学が到達していないのではないかと、この疑問が消えないからである。この夏の関西地区の電力不足を理由に再稼働に踏み切るのであれば、反対論者を説得できる具体的論拠を示すべきだと考える。
特集（スリランカ）	共	2014年4月～	キレイ・ライフスタイル	「スリランカ」を日本で紹介するために立ち上げたコンテンツである。「この中で教えてにしゃんた」というサイトを連載中。
[新聞執筆記事]				
1. 「しかることを忘れた学校」（新世界が見えてくる大阪）	単	1998年8月23日	産経新聞	大阪版
2. 「国際化の裏で根強い外国人差別」	単	1998年8月27日	朝日新聞	名古屋版
3. 「いくら国際交流を重ねても」	単	1998年12月3日	朝日新聞	名古屋版
4. 「踏み台にせず真の交流を」（新世界が見えてくる大阪）	単	1999年3月14日	産経新聞	大阪版
5. 「留学生しか歓迎しないの」	単	1999年3月18日	朝日新聞	名古屋版
6. 「途上国の人に冷たい対応」	単	1999年5月13日	朝日新聞	名古屋版
7. 「マイノリティーに法の光を」	単	1999年7月15日	朝日新聞	名古屋版
8. 「本名のまま生きる韓	単	1999年10月15日	朝日新聞	名古屋版

9.	「国際交流は盛んだが、企画は日本人向け」	単	1999年12月3日	朝日新聞	名古屋版
10.	「変な『異文化理解』身近な人と共生を」	単	2000年1月28日	朝日新聞	名古屋版
11.	「暮らしにくい日本外国籍の子支援を」	単	2000年3月31日	朝日新聞	名古屋版
12.	「留学生は管理の対象なの？」	単	2000年6月16日	朝日新聞	名古屋版
13.	「外国人の人権にも関心を」	単	2000年4月22日	読売新聞	全国版
14.	「中国に残る日本侵略のつめ跡」	単	2000年10月13日	朝日新聞	名古屋版
15.	「武士道精神に欠ける戦後補償」	単	2000年12月15日	朝日新聞	名古屋版
16.	「外国人にも印鑑なぜ強要？」	単	2001年2月13日	朝日新聞	名古屋版
17.	「携帯電話が壊れても一大事」	単	2001年3月23日	朝日新聞	名古屋版
18.	「片言の外国人は『怪しいもの』？」	単	2001年7月13日	朝日新聞	名古屋版
19.	「友よ、『先見の明』ある君に敬服」	単	2001年9月21日	朝日新聞	名古屋版
20.	「いつまで？脱亜入欧」	単	2001年9月21日	朝日新聞	名古屋版
21.	「病気で知る共生の道のり」	単	2002年1月11日	朝日新聞	名古屋版
22.	「New Comer」から見た「Old Comer—忘れられた国際人—」	単	2000年8月	百色百光	第3号 龍谷大学
23.	「ツナミ 貧しい漁民直撃」	単	2006年4月28日	朝日新聞	山口版
24.	「信仰を支えに心は前向き」	単	2006年4月29日	朝日新聞	山口版
25.	「市民レベルの支援期待」	単	2006年4月30日	朝日新聞	山口版
26.	「真の支援 人材育成急の」	単	2006年1月17日	中国新聞	山口版
27.	「被災地に温もり伝える」	単	2006年1月24日	中国新聞	山口版
28.	「心豊かな学問教えたい」	単	2006年1月31日	中国新聞	山口版

29. 「こころもからだもぼっかばか」	単	2006年2月7日	中国新聞	山口版
30. 「挨拶は暮らしの潤滑油」	単	2006年2月14日	中国新聞	山口版
31. 「学べる幸せかみしめて」	単	2006年2月21日	中国新聞	山口版
32. 「手に持ため美学 和の心」	単	2006年2月28日	朝日新聞	山口版
33. 「会話弾めば心にも栄養」	単	2006年3月7日	朝日新聞	山口版
34. 「国渡り歩く若人を応援」	単	2006年3月14日	中国新聞	山口版
35. 「異郷学ぶ絶好の教科書」	単	2006年3月28日	中国新聞	山口版
36. 「平仮名表記で問題提起」	単	2006年4月4日	中国新聞	山口版
37. 「くせで再認識する己」	単	2006年4月11日	中国新聞	山口版
38. 「愛情感じ違いを楽しむ」	単	2006年4月18日	中国新聞	山口版
39. 「心豊かな母国では不要」	単	2006年4月25日	中国新聞	山口版
40. 「歴史に埋もれた[功績]」	単	2006年5月2日	中国新聞	山口版
41. 「若者よ世界へと羽ばたけ」	単	2006年5月9日	中国新聞	山口版
42. 「京町家風☆にしゃんた」	単	2001年11月16日	『NHK-DIG』	3年以上渡り NHKHP（大阪）にてコラムを連載

□ 2010年1月～2011年3月 講演会実績一覧 にしゃんた

	講演会実施日	都道府県	主催者・会合名	講演テーマ	聴講者と参加人数
1	1月6日(水)	奈良県	橿原市役所	多文化共生と新時代	市の職員の方々 約800名
2	1月16日(土)	岡山県	井原市役所	留学生が愛した国・日本私を支えた人の優しさ、あたたかさ	一般市民の方々 約400名
3	1月23日(土)	兵庫県	神戸・明石ダイワオーナーズ会	違いは学びと成長のパスポート	会員の方々
4	1月29日(金)	熊本県	熊日開発サービス株式会社	日本的経営は海を越えられたか!?	企業・団体経営者 約30名
5	1月30日(土)	福岡県	北九州市消防局危機管理室	スリランカからのことづけ	市民約300名
6	2月12日(金)	東京都	都立 国分寺高等学校	文化鑑賞会	全校生
7	2月19日(金)	大阪府	淀川区地域女性団体協議会	違いを楽しみ力に変える 多文化共生新時代	女性会 一般 約700名
8	3月8日(月)	兵庫県	住友ゴム工業株式会社	違いを楽しみ力に変える-多文化コミュニケーション・人・企業・世界	部長、代理クラス約80名
9	3月9日(火)	和歌山県	海南市教育委員会	留学生が愛した国・日本 私を支えた人の優しさ、あたたかさ	婦人会 約150名
10	3月14日(日)	鹿児島県	湧水町教育委員会	多文化共生と新時代	一般の方々 約300名
11	3月20日(土)	愛知県	春日井市役所	ちがいを楽しみ力にかえる多文化共生“新”時代	一般市民 約100名
12	3月26日(金)	大阪府	大阪市生野区役所	多文化共生と新時代	一般区民 約350名
13	4月1日(木)	岐阜県	社団法人大垣青年会議所	ちがいを楽しみ力にかえる多文化共生“新”時代	青年会議所及び一般 200名
14	6月3日(木)	岡山県	倉敷市国際交流協会	国際交流はもう古い!?多文化共生、民際交流新時代	協会の会員と一般
15	6月11日(金)	大阪府	経営研究会アイデア	日本的経営は海を越えられたか	会員 約30名
16	6月25日(金)	兵庫県	株関電エンジニアリング	安全な組織をつくる新時代のコミュニケーション	社員及び協力会社 約100名
17	7月2日(金)	兵庫県	大和ハウス工業株式会社	留学生が愛した国・日本私を支えた人の優しさ、あたたかさ	関係者約200人
18	7月4日(日)	大阪府	天草高校同窓会関西支部	ぼく日本人になりました	約200名
19	7月15日(木)	神奈川県	社団法人相模原青年会議所	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	青年会議所及び一般 200名
20	8月4日(水)	大阪府	関西経済連合会	エンタメ実演 落語 青い眼の町内会長さん	関係者約150名
21	8月5日(木)	京都府	南山城村・南山城教育委員会	にしゃんた博士の人権ってな～に	一般の方 約150名
22	8月15日(日)	長野県	下條村教育委員会	心の豊かさを求めて/違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	新成人 一般村民 約200名
23	8月19日(木)	奈良県	十津川村人権教育研究会	国際交流はもう古い!?急げ民際交流と多文化共生	教職員 約50名

24	8月26日(木)	広島県	安芸高田市たかみや人権会館	心の豊かさを求めて・違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	一般市民の方々 約 200名
25	8月27日(金)	東京都	文化庁	ちがいを楽しみ力に変える ～言葉の壁を越えて	日本語教育者、他
26	9月17日(金)	大阪府	大阪市企業人権推進協議会	にしゃんたのおもしろ日本滞在記	人権推進協議会員および一般
27	10月8日(金)	京都府	京都紫竹ロータリー	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	会員
28	10月9日(土)	大阪府	大阪啖啄塾	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	若手経営者・指導者約 20名
29	10月13日(水)	東京都	日本生命 ①	違いを楽しみ力に変える 多文化社会の実現に向けて	従業員 500名
30	10月13日(水)	東京都	日本生命 ②	違いを楽しみ力に変える 多文化社会の実現に向けて	従業員 500名
31	10月13日(水)	東京都	日本生命 ③	違いを楽しみ力に変える 多文化社会の実現に向けて	従業員 500名
32	10月15日(金)	熊本県	天草高等学校	可能性は無限大！違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	全校生
33	10月19日(火)	東京都	日本生命 ④	違いを楽しみ力に変える 多文化社会の実現に向けて	従業員 500名
34	10月19日(火)	東京都	日本生命 ⑤	違いを楽しみ力に変える 多文化社会の実現に向けて	従業員 500名
35	10月30日(土)	福岡県	久留米信愛女学院	未来をつくる私たち ～壁=チャンス	保護者、教員、生徒 1,000人
36	11月6日(土)	大阪府	法務省-人権教育啓発推進センター	真の多文化共生の実現に向けて (パネラー)	一般対象
37	11月17日(水)	和歌山県	御坊市役所	多文化共生と新時代	一般の方々 約 150名
38	11月20日(土)	兵庫県	明石市立衣川中学校	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	全高生
39	11月23日(火)	京都府	宇治市 人権啓発課	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	一般約 200名
40	11月25日(木)	大阪府	高槻地区人権推進員企業連絡会	違いを楽しむ多文化共生新時代 企業における多文化共生	会員および一般
41	11月26日(金)	愛知県	大治中学校	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	生徒 約 1,000名
42	11月27日(土)	兵庫県	明石市役所	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	一般対象
43	12月4日(土)	福岡県	新宮町役場 総務課	みんな違ってそれでいい	一般対象
44	12月4日(土)	福岡県	うきは市 教育委員会	多文化共生と新時代	一般市民の方々 788名
45	12月5日(日)	栃木県	益子町 PTA 連絡協議会	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	一般市民約 400名
46	12月7日(火)	徳島県	美馬市役所	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	一般対象
47	12月9日(木)	兵庫県	宍粟市教育委員会	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	一般の方々 約 150名
48	12月10日(金)	大阪府	金光桐蔭高等学校	違う人との出会いは、学びと成長のパスポート	生徒約 1,000人
49	12月10日(土)	広島県	尾道市教育委員会	にしゃんた博士のわいわい国際ミーティング	一般対象

50	12月12日(日)	兵庫県	神戸市須磨区役所	違いを楽しみ力にしてい く みんな違ってそれでいい	一般対象
51	12月15日(水)	広島県	海田市教育委員会 生涯学習課	違いを楽しみ力にしてい く みんな違ってそれでいい	一般の方 約 100名
52	1月13日(木)	京都府	京福電鉄 100周年シンポジウム	パネルディスカッション	約 300名
53	1月14日(金)	栃木県	岩舟町人権講演会	違いを楽しみ力にしてい く ～が 伊 ーティ目指して	中学生・一般 約 350名
54	1月20日(木)	和歌山県	和歌山高等学校	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	高校生・職員約 700名
55	1月23日(日)	岡山県	真庭市 生涯学習新春講演会	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	一般対象
56	1月25日(水)	大阪府	松原市選挙委員会	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	選挙管理委員・局長 160名
57	1月26日(水)	京都府	ジーク株式会社	安全な組織を作る新時代のコミュニケーション	150名
58	1月30日(日)	山口県	田万川地域人権を考える集い推進大会	ちがう人との出会いは学びと成長のパスポート	地域住民一般 400名
59	2月10日(木)	和歌山県	和歌山県産業教育振興会	違いを楽しみ力にかえる	振興会対象
60	2月12日(土)	兵庫県	たつの市 人権を考える市民の集い	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	地域住民 480名
61	2月16日(水)	東京都	国家公務員研修	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	国家公務員 200名
62	2月19日(土)	茨城県	ひたちなか市国際交流協会	にしゃんたのおもしろ日本滞在記	会員・市民 約 300人
63	2月24日(木)	愛知県	あま市 自殺防止講演会(七宝中)	可能性は無限大!～セレンディピティ予期せぬ発見という人生	中学生対象 600人
64	2月25日(金)	石川県	能見市ボランティア連絡協議会	豊かなアジア、貧しい日本～心の豊かさを求めて	約 220人
65	2月28日(月)	愛知県	あま市 自殺防止講演会(七宝北中)	可能性は無限大!～セレンディピティ予期せぬ発見という人生	中学生約 200人
66	3月1日(火)	岐阜県	高山市快適環境づくり市民会議	みんな地球に住む家族スリランカからのことづけ	一般・職員 約 200名
67	3月2日(水)	大阪府	株式会社関西明装	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	協力会社・経営者 約 200名
68	3月5日(土)	広島県	中部ブロック社会教育活動事業	違いを楽しみ力に変える多文化共生のまちづくり	一般 約 200名
69	3月10日(木)	大阪府	大阪市企業人権推進協議会浪速区支部	職場内多様性、多文化について	企業関係者
70	3月24日(木)	熊本県	熊日女性文化の会 熊本新聞	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	企業・団体経営者 約 30名
71	3月27日(日)	福井県	越前朝役場 国際交流協会	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	町民の皆様

□ 2011年4月～2012年3月 講演会実績一覧 にしゃんた

	講演会実施日	都道府県	主催者・会合名	講演テーマ	聴講者と参加人数
1	4月8日(金)	滋賀県	近江鉄道株式会社	多文化共生“新”時代～違いを楽しみ力にかえる～	企業経営者・幹部約150名
2	5月11日(水)	神奈川県	戸塚法人会	多文化共生“新”時代～違いを楽しみ力にかえる～	会員経営者 50名
3	5月14日(土)	京都府	八幡市役所	1色よりカラフルな虹がいい	一般市民 約200名
4	5月30日(月)	鳥取県	米子市役所	多文化共生“新”時代～違いを楽しみ力にかえる～	企業人権啓発担当者約80名
5	5月31日(火)	大阪府	前田建設工業株式会社関西支店	いま、私たちができることスマトラ沖地震・津波現地レポート	安全管理関係者等約200名
6	6月6日(月)	大阪府	佐藤工業株式会社大阪支店	安全な組織をつくる“新”時代のコミュニケーション	安全管理関係者等約200名
7	6月7日(火)	大阪府	近畿軌道エンジニアリング株式会社	安全な組織をつくる“新”時代のコミュニケーション	安全管理関係者等約200名
8	6月8日(水)	富山県	高岡法人会	武士道と日本の子育て	会員経営者100名
9	6月9日(木)	大阪府	大阪市企業人権推進協議会住之江区支部	職場内の多様性・多文化～違いを楽しみ力にする時代～	企業人権啓発担当者約100名
10	6月9日(木)	大阪府	名工建設株式会社大阪支店	安全な組織をつくる“新”時代のコミュニケーション	安全管理関係者等約90名
11	6月13日(月)	岡山県	株式会社藤木工務店倉敷支店	安全な組織をつくる“新”時代のコミュニケーション	安全管理関係者等約150名
12	6月15日(水)	和歌山県	浅川組	安全な組織をつくる“新”時代のコミュニケーション	安全管理関係者等約150名
13	6月17日(金)	福岡県	株式会社奥村組九州支店	安全な組織をつくる“新”時代のコミュニケーション	安全管理関係者等約100名
14	6月18日(土)	愛知県	日本基礎技術株式会社中部支店	安全な組織をつくる“新”時代のコミュニケーション	安全管理関係者等約70名
15	6月21日(火)	大阪府	日特建設株式会社大阪支店	いま、私たちができることスマトラ沖地震・津波現地レポート	安全管理関係者等約100名
16	6月22日(水)	大阪府	関西大学北陽中学校	多文化共生“新”時代～違いを楽しみ力にかえる～	中学2年生120名
17	6月23日(木)	滋賀県	岐建株式会社滋賀支店	安全な組織をつくる“新”時代のコミュニケーション	安全管理関係者等約200名
18	6月26日(日)	岡山県	津山市役所	違いを楽しみ力にかえる～多文化共生“新”時代～	一般の方々 約200名
19	6月27日(月)	大阪府	堺市/堺市高石市防災協会連合会	いま、私たちができることスマトラ沖地震・津波現地レポート	事業所関係者等200名
20	6月28日(火)	大阪府	富国建設株式会社	安全な組織をつくる“新”時代のコミュニケーション	安全管理関係者等約100名
21	6月30日(木)	大阪府	多田建設株式会社大阪支店	安全な組織をつくる“新”時代のコミュニケーション	安全管理関係者等約100名
22	7月1日(金)	岐阜県	岐阜八幡基準協会	もしもあなたの仕事仲間が外国人だとしたら	安全衛生担当者等約150名
23	7月2日(土)	奈良県	安堵町役場	世界からみた、日本人の人権感覚	一般町民約300名

24	7月4日(月)	兵庫県	大和ハウス株式会社阪神支店	安全な組織をつくる“新”時代のコミュニケーション	安全管理関係者等約100名
25	7月7日(土)	大阪府	大阪市企業人権推進協議会西区支部	職場内のダイバーシティ～違いを楽しみ力にする時代～	企業人権啓発担当者約50名
26	7月8日(金)	東京都	株式会社竹中工務店	安全な組織をつくる“新”時代のコミュニケーション	安全管理関係者等約100名
27	7月14日(木)	大阪府	光洋工業株式会社	多文化共生で強い組織を作る	企業経営者約80名
28	7月15日(金)	大阪府	大阪市企業人権推進協議会中央区支部	違いを楽しみ力に変える多文化共生“新”時代	企業人権啓発担当者約250名
29	7月20日(水)	大阪府	多民族共生人権教育センター	(パネリスト)	企業、団体関係者等500名
30	7月23日(土)	千葉県	大綱白里町役場	ちがう人との出会いは学びと成長のパスポート	一般町民250名
31	7月27日(水)	愛知県	中谷建設株式会社	安全な組織をつくる“新”時代のコミュニケーション	安全管理関係者等約70名
32	7月28日(木)	山形県	庄内町役場	違いを楽しみ力に変える多文化共生“新”時代	一般町民300名
33	8月6日(土)	奈良県	高田西中学校	可能性は無限大セレンディピティ～予期せぬ発見という人生	中学生、教職員550名
34	8月9日(金)	山口県	山口県教職員互助会	心の豊かさをもとめて	教職員等約50名
35	8月20日(土)	滋賀県	守山市教育委員会	心の豊かさをもとめて	一般市民、教職員1300名
36	8月30日(火)	大阪府	堺市人権教育推進協議会	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	一般対象
37	9月3日(土)	福井県	福井県立勝山高等学校	文化鑑賞会	生徒・教職員400名
38	9月3日(土)	大阪府	宮本電気工事(株)	安全な組織を作る新時代のコミュニケーション	150名
39	9月5日(月)	兵庫県	尼崎市	違いを楽しみ力に変える多文化共生“新”時代	民生委員200名
40	9月10日(土)	和歌山県	天野産業(株)安全協議会	いま私たちができること	社員・協力会社100名
41	9月11日(日)	北海道	岩見沢市	共(男女)に生きる共(老若男女)に学ぶ	市民400名
42	9月13日(火)	大阪府	積和建設(株)	安全な組織を作る新時代のコミュニケーション	社員・協力会社1000名
43	9月15日(木)	京都府	和束町人権ふれあいセンター	違いを楽しみ力に変える多文化共生“新”時代	町民約50名
44	9月22日(木)	奈良県	都祁中学校	国際交流はもう古い!? 国際交流多文化共生“新”時代	中学生対象500名
45	10月14日(金)	愛知県	岡崎信金 おかしん塾生会	違いを楽しみ力に変える多文化共生“新”時代	経営者100名
46	10月19日(水)	和歌山県	那賀高等学校	違いを楽しみ力に変える多文化共生“新”時代	高校生750名
47	10月21日(金)	愛知県	財)人権教育啓発推進センター	違いを楽しみ力に変える多文化共生“新”時代	自治体人権啓発担当50名
48	10月23日(日)	熊本県	地域日本語支援やつしろクラブ	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	会員・市民100名
49	10月26日(水)	岐阜県	岐阜第一高等学校 文化祭	にしゃんたのおもしろ日本滞在記	生徒、教職員700名

50	10月28日(金)	大阪府	(株)ダイキンアプライドシステム	安全な組織を作る新時代のコミュニケーション	企業関係者 200名
51	10月29日(土)	大阪府	北陵中学校 PTA	多文化共生新時代 みんな地球家族!	中学生 PTA300名
52	11月6日(日)	鹿児島県	鹿屋市国際交流協会	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	市民 400名
53	11月8日(火)	兵庫県	伊丹高等学校	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	高校生、教職員 950名
54	11月10日(木)	奈良県	西和清陵高等学校	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	高校生、教職員 600名
55	11月11日(金)	滋賀県	旭化成(株)	安全な組織を作る新時代のコミュニケーション	社員 200名
56	11月12日(土)	大阪府	高槻市青少年指導員協議会	みんなで創ろう違いを認め合える社会	市民 50名
57	11月14日(月)	広島県	福山市生涯学習センター	いま、私たちができること	市民 400名
58	11月14日(月)	兵庫県	小西酒造(株)	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	経営者 80名
59	11月18日(金)	滋賀県	滋賀銀行	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	経営者 60名
60	11月25日(金)	大阪府	WARP-LEENET	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	会員 150名
61	11月26日(日)	岡山県	岡山県交流協会	私を支えた人の優しさ、あたたかさ	市民 80名
62	11月28日(月)	福岡県	吉井中学校	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	中学生 480名
63	11月28日(月)	福岡県	浮羽中学校	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	中学生 450名
64	11月30日(水)	京都府	亀岡市 人権講演会	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	市民 50名
65	12月1日(木)	山口県	上関町 PTA 連合会	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	PTA80名
66	12月2日(金)	愛知県	甚目寺中学校	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	中学生 650名
67	12月3日(土)	広島県	世界人権宣言実行委員会	私を支えた人の優しさ、あたたかさ	市民 500名
68	12月4日(日)	千葉県	松戸市人権講演会	1色の虹よりカラフルな虹がいい	市民 400名
69	12月7日(水)	岡山県	吉備高原学園高等学校	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	高校生 650名
70	12月8日(木)	大阪府	関西交際空港(株) 人権研修	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	社員幹部 150名
71	12月8日(木)	大阪府	天王寺区役所	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	区民 300名
72	12月9日(金)	東京都	練馬区役所	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	区民 400名
73	12月10日(土)	大分県	豊後大野市	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	市民 300名
74	12月14日(水)	兵庫県	神戸市灘区役所	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	区民 300名
75	12月15日(木)	東京都	日本生命(株)人権研修①	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	社員 300名

76	12月15日(木)	東京都	日本生命(株)人権研修②	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	社員 300名
77	12月19日(月)	大阪府	三井化学(株)	安全な組織を作る新時代のコミュニケーション	社員 120名
78	1月11日(水)	兵庫県	西宮市役所 人権研修	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	職員 100名
79	1月13日(金)	山口県	下関市商工会議所 例会	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	関係者 100名
80	1月21日(土)	大阪府	大阪市住吉区	国際交流はもう古い!? 民際交流多文化共生新時代	区民 350名
81	1月22日(日)	大阪府	財)人権教育啓発推進センター	「震災と人権～わたしたちに出来ること～」パネリスト	300名
82	1月25日(水)	大阪府	東淀川区社会福祉協議会	多文化・多民族共生社会を考える	委員 200名
83	1月29日(日)	高知県	四万十町 人権講演会	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	町民 200名
84	2月4日(土)	広島県	福山市松永生涯学習センター	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	市民 300名
85	2月11日(土)	福島県	福島県赤十字血液センター	共に笑える日本をつくる	県民 100名
86	2月16日(木)	兵庫県	住友化学(株)	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	社員 120名
87	2月20日(月)	新潟県	新潟青年会議所 例会	相互理解から始まる世界平和	市民 400名
88	2月22日(水)	大阪府	山口銀行 大阪支店	にしゃんたの東方見聞録	経営者 40名
89	2月26日(日)	三重県	紀宝町社会福祉協議会	いま私たちができること	町民 200名
90	3月8日(木)	愛知県	日本下水道処理施設管理業協会中部支部	安全な組織を作る新時代のコミュニケーション	関係者 50名
91	3月10日(土)	滋賀県	愛荘町 部落解放研究滋賀県集會	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	県民 200名
92	3月17日(土)	大阪府	大阪市浪速区	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	区民 400名
93	3月19日(月)	和歌山県	和歌山青年会議所 公開講座	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	市民 200名
94	3月25日(日)	兵庫県	三田市国際交流協会	違いを楽しみ力に変える多文化共生新時代	市民 200名

□ 2012年4月～2013年3月 講演会実績一覧 にしゃんた

	講演会実施日	都道府県	主催者・会合名	講演テーマ	聴講者と参加人数
1.	4月6日(金)	大阪市	交通事故をなくす運動推進実行委員会	交通安全関連	一般 500名
2.	4月20日(金)	福井市	浜町食談会	落語	一般市民
3.	4月26日(木)	北海道	北海電気工事株式会社	安全な組織をつくるための	会社員、関連事業関係者
4.	5月13日(日)	三重県	尾鷲市林町会館	違いを楽しみ力にかえる～多文化共生新時代～	住民全般
5.	5月19日(土)	高知県	春野地区人権啓発推進委員会	人権関連	関係者、一般
6.	5月20日(日)	京都府	JR 京都関連企業	企業安全大会	企業関係者
7.	5月25日(金)	京都府	日新電機株式会社	違いを楽しみ力にかえる～多文化共生新時代～	企業関係者、関連企業
8.	5月3日(木)	東京都	東京都教育庁指導部	違いを楽しみ力にかえる～多文化共生新時代～	幼稚園、学校長など 500名
9.	6月1日(金)	岡山県	大成ロテック株式会社 中国支社	企業安全大会	協力会社経営者・社員
10.	6月6日(水)	愛知県	名古屋市	企業安全大会	協力会社経営者・社員
11.	6月8日(金)	香川県	鹿島建設 中国支店	企業安全大会	協力会社経営者・社員
12.	6月13日(水)	大阪府	福田道路株式会社	企業安全大会	協力会社経営者・社員
13.	6月16日(土)	大阪府	日本土木建設株式会社	企業安全大会	建設関係者
14.	6月22日(金)	大阪府	大阪ビルメンテナンス協会	安全な組織をつくるための“新”時代コミュニケーション	企業役員、関連企業関係者
15.	6月23日(土)	静岡県	倉和建设株式会社	安全な組織をつくるための“新”時代コミュニケーション	社員、関連企業関係者
16.	6月27日(水)	愛知県	豊橋市・株式会社中部	安全な組織をつくるための“新”時代コミュニケーション	会社役員、関連企業関係者
17.	7月1日(日)	群馬県	群馬県太田市	わかちあう 仕事も家庭も喜びも	一般市民の方 430名
18.	7月3日(火)	香川県	香川労働基準協会	安全な組織をつくるためのコミュニケーション	企業経営者、労務担当
19.	7月5日(木)	群馬県	群馬県立中央中等教育学校	文化鑑賞会	生徒約 750名
20.	7月7日(土)	愛媛県	西予市教育委員会 城川教育課	人権のつどい	中学生+保護者約 300名
21.	7月8日(日)	群馬県	中之条町教育委員会	にしゃんたのおもしろ日本滞在記	一般の方々高校生
22.	7月13日(金)	徳島県	徳島県立吉野川高等学校	国際理解講演会	全校生
23.	7月21日(土)	京都府	綾部市あいセンター	男女共同参画	一般の方

24.	7月27日(金)	沖縄県	ユアサ商事 九州支社	企業安全大会	主催者取引先約 20 名
25.	7月28日(土)	鳥取県	鳥取市高草人權福祉センター	こころの豊かさを求めて～違いを楽しみ、力にかえる～	一般の方々 200 名
26.	8月2日(木)	千葉県	千葉県庁	千葉県平成 24 年度人権問題講演会	一般
27.	8月4日(土)	鹿児島県	霧島市役所	霧島市じんけんフェスタ	一般
28.	8月19日(日)	兵庫県	加西市	違いを楽しみ、力に変える ～多文化共生“新”時代	一般
29.	8月24日(金)	愛知県	内外情勢調査会 知多支部	違いを楽しみ、力に変える ～多文化共生“新”時代	会員の方々
30.	8月30日(木)	山形県	財団法人山形県生涯学習文化財団	違いを楽しみ、力に変える ～多文化共生“新”時代	一般の方
31.	9月1日(土)	香川県	協和エクシオ	安全な組織を作るための“新”時代コミュニケーション	安全大会
32.	9月2日(日)	京都府	まいづる人権啓発資金会議	人権講演会	一般の方
33.	9月4日(火)	京都府	日本コンサルタントグループ	安全な組織を作るための“新”時代コミュニケーション	安全大会
34.	9月5日(水)	和歌山県	近畿大学附属和歌山高校・中学校	人権講演会	保護者
35.	9月12日(水)	石川県	中村木材株式会社	みんな地球家族 ～わかちあう仕事も家庭も喜びも～	得意先工務店 25 社、50 名
36.	9月15日(土)	大阪府	大阪なにわ経営者漁火会	人材育成講演会	20～30 代の社員約 100 名
37.	9月19日(水)	兵庫県	兵庫県食品衛生協会	安全大会	関係者
38.	9月23日(日)	福井県	勝山市教育委員会	人権講演会	一般市民
39.	9月25日(火)	北海道	北海道市町村職員共済組合	安全な組織を作るための“新”時代コミュニケーション	組合員
40.	10月19日(金)	愛知県	社団法人碧南青年会議所	人材教育	会員の方々
41.	10月28日(日)	広島県	福山市旭丘学区まちづくり推進委員会	まちづくりについて	地元住民の方々
42.	11月2日(金)	福井県	福井県立坂井農業高等学校	文化鑑賞会	全校生
43.	11月3日(土)	山梨県	山梨県国際交流協会	国際理解・多文化共生講演会	一般の方 約 60 人
44.	11月4日(日)	千葉県	千葉県市原市	人権問題講演会	一般の方 約 500 人
45.	11月5日(月)	広島県	協和エクシオ 中国支部	安全大会	協力会社の方々
46.	11月8日(木)	広島県	広島県立広島井口高校	文化鑑賞会	全校生
47.	11月9日(金)	愛知県	猿投農林高等学校	愛について	生徒
48.	11月11日(日)	岐阜県	岐阜市市民参画部	違いを楽しみにかえる～多文化共生“新”時代	一般市民の方々
49.	11月15日(木)	愛媛県	日本食研株式会社	人材教育	取引先の方々

50.	11月16日(金)	石川県	石川県建設業協会	安全大会	建設業経営者 約200名
51.	11月20日(火)	三重県	三重県ボランティア基金	ボランティアについて	一般市民の方々
52.	11月23日(金)	広島県	広地区教育祭実行委員会事務局	教育講演会	一般の方々
53.	11月25日(日)	広島県	広島県府中町	人権フェスタ	一般市民の方々
54.	11月26日(月)	愛知県	内外情勢調査会 春日井支部	違いを楽しみにかえる～多文化共生“新”時代	会員の方々
55.	11月28日(水)	富山県	社会福祉法人福寿会	セレンディビティー～偶然を幸運にかえる力～	職員・地域の方々200名
56.	12月2日(日)	鳥取県	鳥取市市民福祉課	日本に来て感じたこと	一般市民の方々
57.	12月7日(金)	京都府	京都府井手町役場	人権講演会	一般市民の方々
58.	12月9日(日)	神奈川県	山北町教育委員会	人権問題講演会	一般の方
59.	12月16日(日)	滋賀県	長浜市役所	男女共同参画講演会	市民の方々
60.	12月20日(木)	東京都	日本生命保険相互会社	人権研修	社員
61.	12月20日(木)	神奈川県	神奈川県立新羽高等学校	地球と自然と私たち～共に笑い、共に生きる～	高校生
62.	12月20日(木)	東京都	大成口テック	安全大会	社員、協力会社社員
63.	12月23日(日)	富山県	富山県(国際・日本海政策課)	多文化共生シンポジウム	一般県民300名
64.	1月17日(木)	静岡県	富士青年会議所	人材教育	会員、富士市経済人
65.	1月18日(金)	静岡県	内外情勢調査会 浜松支部	違いを楽しみにかえる～多文化共生“新”時代	会員の方々
66.	1月20日(日)	東京都	三共立山アルミ	安全大会	協力会社の方々
67.	1月22日(火)	横浜市	大和ハウス工業	安全大会	経営者、スタッフ等
68.	1月25日(金)	北海道	内外情勢調査会 札幌支部	違いを楽しみにかえる～多文化共生“新”時代	会員の方々
69.	1月27日(日)	熊本県	熊本県庁	多文化共生“新”時代 みんな地球家族!	一般県民500名
70.	2月1日(金)	栃木県	栃木県庁	ボランティア関係を交えて	一般県民、NPO関係者
71.	2月4日(月)	大阪府	関西空港CS向上協議会事務局	「おもてなし」について	新関西国際空港の関係者
72.	2月17日(日)	愛媛県	四国中央市	人権講演会	一般市民の方々
73.	2月23日(土)	長野県	上田市丸子地域教育事務所	民際交流と多文化共生時代	一般市民の方々400名
74.	2月26日(火)	静岡県	富士フィルム株式会社富士宮工場	もしもあなたの仕事仲間が外国人だったら～	関連工事業者、社員400名
75.	2月27日(水)	奈良県	天理教 啓発委員会	留学生が見た日本の特質～互いたて合いたすけ合い～	教会関係者、一般200名

76.	3月3日（日）	滋賀県	大津市「人権・生涯」学習推進協議会	心の豊かさを求めて ～違いを楽しみ、力にかえる～	一般市民の方々
77.	3月10日（日）	栃木県	宇都宮市国際交流協会	国際交流に関して	一般市民の方々
78.	3月18日（月）	千葉県	千葉県立千城台高等学校	教育講演会	生徒、教職員
79.	3月20日（水）	大阪府	和泉市	人権啓発講演会	一般市民の方々 200名
80.	3月25日（月）	大阪府	堺地区勤労者福祉協議会	多文化共生について	市内労働団体の役員

□ 2013年4月～2014年3月 講演会実績一覧 にしゃんた

	講演会実施日	都道府県	主催者・会合名	講演テーマ	聴講者と参加人数
1.	4月13日	兵庫県	昭和住宅(株)・関連企業(兵庫県)	違いを楽しみ、力にかえる～多文化共生“新”時代～	協力会社の方々
2.	4月18日	長野県	長野青年会議所	違いを楽しみ、力にかえる～多文化共生“新”時代～	一般の方々
3.	5月15日	栃木県	栃木県立黒磯南高等学校	違いを楽しみ、力にかえる～多文化共生“新”時代～	全校生+教職員+保護者
4.	5月18日	東京都	大和ハウス工業(東京)	違いを楽しみ、力にかえる～多文化共生“新”時代～	関係者
5.	5月20日	栃木県	茨城県商工会連合会	みんな地球家族～わかちあう仕事も家庭も喜びも～	女性会員など
6.	5月23日	広島県	呉信用金庫+広島テレビ	違いを楽しみ、力にかえる～多文化共生“新”時代～	取引先若手経営者500名
7.	5月29日	青森県	八戸市教育委員会 市民大学	違いを楽しみ、力にかえる～多文化共生“新”時代～	一般の方々
8.	6月3日	滋賀県	日本赤十字社 滋賀支部	違いを楽しみ、力にかえる～多文化共生“新”時代～	県の日赤有功会員、約100名
9.	6月3日	兵庫県	加古川市消防本部	いま私たちが出来ること-スマトラ沖地震と東日本大震災に学ぶ	市内事業者など
10.	6月14日	徳島県	藍住町教育委員会「町民シアター」	違いを楽しみ、力に変える～多文化共生“新”時代～	一般町民
11.	6月29日	和歌山県	和歌山県海南市	分かち合う仕事も家庭も喜びも	一般市民の方々
12.	7月4日	静岡県	大和ハウス工業静岡支店	安全な組織を作る為の“新”時代のコミュニケーション	協力会社の方々
13.	7月26日	奈良県	奈良県庁	人権研修	県庁職員(課長職以上)
14.	7月27日	北海道	北海道ぎょれん稚内支店	安全な組織を作る為の“新”時代のコミュニケーション	組合員100名程度
15.	7月29日	香川県	坂出市	みんな地球家族～わかちあう仕事も家庭も喜びも～	一般市民200名
16.	8月19日	大阪府	京都府職員研修・研究支援センター	違いを楽しみ、力にかえる～多文化共生“新”時代～	京都府幹部幹部職員
17.	8月20日	鹿児島県	さつま町役場	人権関連	町民
18.	8月24日	新潟県	新潟県生涯学習課	違いを楽しみ、力にかえる～多文化共生“新”時代～	教員・青少年育成関係
19.	8月31日	岡山県	高梁市役所	国際理解講座として	一般の方々
20.	9月28日	東京都	國學院大學久我山高等学校	文化祭における講演	全校生、保護者、教員
21.	9月29日	京都府	綾部市	男女共同参画	一般市民の方々
22.	10月5日	栃木県	宇都宮市国際交流協会	国際交流に関して	500名
23.	10月10日	山梨県	山梨県国際交流協会	違いを楽しみ、力にかえる～多文化共生“新”時代～	生徒+教職員、保護者

24.	11月8日	千葉県	四街道市 教育委員会	ちがう人との出会いは学びと成長のパスポート	一般市民
25.	11月9日	岐阜県	岐阜清流中学校	違いを楽しみ、力に変える～多文化共生“新”時代	全校生 700名
26.	11月14日	山形県	山形県舟形町	にしゃんた博士の“じんけんってな～に？”	小学生ならびに保護者
27.	11月16日	栃木県	日光市	いま私たちができること～スリランカの津波に学ぶ～	一般の市民の方々
28.	11月19日	大阪府	大阪市企業人権推進会	違いを楽しみ、力にかえる～多文化共生“新”時代～	大阪市内企業・会員の皆さん
29.	11月23日	栃木県	とちぎ未来づくり財団	ちがう人との出会いは学びと成長のパスポート	教員、警察OBなど、一般
30.	11月24日	高知県	高知県越知町 PTA 連合会	家庭教育と社会教育	P T A、一般 100名
31.	11月25日	福島県	いわき青年会議所	世界から見た魅力ある日本	福島中学校生徒2年生、500名
32.	11月30日	広島県	横浜市	人権について	一般市民、中学生
33.	12月4日	滋賀県	栗東市	人権講演会	一般市民、200名
34.	12月6日	滋賀県	滋賀県愛荘町	人権講演会	一般の方々 300名
35.	12月7日	京都府	京都府京丹波町	違いを楽しみ、力に変える～多文化共生“新”時代	一般市民の方々
36.	12月8日	奈良県	大和市役所	人権講演（多文化共生等）	一般の方々 350名
37.	12月15日	茨城県	茨城県美浦村	人権について	一般の方々
38.	12月19日	愛知県	株式会社 豊通マシナリー	安全大会	社員、取引先関係者
39.	1月14日	愛媛県	愛媛県トラック協会	違いを楽しみ、力に変える～多文化共生“新”時代	会員（運送業経営者）
40.	1月18日	大阪府	大阪府熊取町	人権について（講演+落語）	一般の方々 250名
41.	1月27日	沖縄県	内外情勢調査会沖縄支部	安全な組織を作る為の“新”時代のコミュニケーション	会員
42.	1月29日	愛知県	知立市（愛知県）	心の豊かさを求めて～違いを楽しみ、力にかえる～	一般の方々 200名
43.	2月4日	山梨県	山梨県職員研修所	違いを楽しみ力に変える、多文化共生“新”時代	県出先機関の職員 100名
44.	2月15日	奈良県	天理市人権教育推進センター	人権講演会	人権関係団体関係者、一般 300名
45.	2月16日	福岡県	太宰府市国際交流協会	国際交流について	会員、一般 150名
46.	2月21日	埼玉県	株式会社アイネット	みんな地球家族～わかちあう仕事も家庭も喜びも～	取引先（菓子メーカー）役職者
47.	2月24日	愛知県	JICA 名古屋 etc	スリランカからの留学生が日本でつかった幸せ	企業関係者、一般
48.	3月1日	大阪府	岸和田市	みんな地球家族～わかちあう仕事も家庭も喜びも～	一般市民 150名
49.	3月10日	大阪府	関西空港	外国人から見た日本のおもてなし	関空関連企業のスタッフ

□ 2014年4月～2015年3月 講演会実績一覧 にしゃんた

	講演会実施日	都道府県	主催者・会合名	講演テーマ	聴講者と参加人数
1.	4月12日(土)	奈良県	生駒市役所	人権講演会	一般市民
2.	5月14日(水)	東京都	日本電気労働組合府中支部	違いを楽しみ、力にかえる～多文化共生“新”時代～	一般組合員＋一部管理職 100～200名
3.	5月30日(金)	京都府	京都人権啓発活動ネットワーク協議会	違いを楽しみ、力にかえる～多文化共生“新”時代～	一般町民の方々
4.	6月28日(土)	東京都	生和コーポレーション	安全大会	協力会社の方々
5.	6月29日(日)	京都府	日本和装師会	日本で知った「幸せ」の値段	会員(着付師範) 300名
6.	7月9日(水)	奈良県	奈良県王寺町	人権講演会	一般町民の方々
7.	7月12日(土)	愛媛県	潮冷熱株式会社	イノベーションについて	管理職・従業員
8.	8月23日(土)	愛知県	名古屋国際センター	多文化共生について	一般聴衆
9.	9月9日(火)	千葉県	内外情勢調査会 南房総支部	違いを楽しみ、力にかえる～多文化共生“新”時代～	会員 150名
10.	9月19日(金)	兵庫県	兵庫県立多可高等学校	違いを楽しみ、力にかえる～多文化共生“新”時代～	在校生(全学年) 330名、
11.	10月4日(土)	兵庫県	加東市教育委員会	違いを楽しみ、力にかえる～多文化共生“新”時代～	社中学校生徒等 500名
12.	10月10日(金)	栃木県	栃木県立宇都宮北高等学校	国際理解	生徒、保護者、学校関係者
13.	10月22日(水)	福井県	越信経済懇話会	越前信用金庫に關係する若手経営者	未定
14.	10月19日(日)	山形県	山形県	男女共同参画講演会	一般の方々
15.	10月25日(土)	愛知県	大口中学校	違いを楽しみ、力にかえる～多文化共生“新”時代～	在校生ならびに希望する保護者
16.	10月29日(水)	防府市	防府市教育委員会	人権学習講演会	一般の方々 500名
17.	10月31日(金)	京都府	龍谷大学国際学部	世界を牽引できるようなグローバル人材の在り方について	学生・一般
18.	11月2日(日)	大阪府	読売育英奨学会	違いを楽しみ、力にかえる～多文化共生“新”時代～	読売奨学生 OB、家族、
19.	11月10日(月)	福井県	福井県民間保育園連盟	にしゃんたの東方見聞録	保育園関係者 300名
20.	11月11日(火)	佐賀県	佐賀県国際交流協会	違いを楽しみ、力にかえる～多文化共生“新”時代～	行政関係者、民間国際交流団体、
21.	11月13日(木)	東京都	安全協議会	安全な組織を作るための“新”時代のコミュニケーション	会員 150名
22.	11月14日(金)	愛知県	愛知県立安城東高等学校 PTA	国際交流について	生徒、保護者、学校関係者
23.	11月15日(土)	大阪府	大阪府立東住吉高等学校	違いを楽しみ、力にかえる～多文化共生“新”時代～	在校生、教職員、卒業生
24.	11月16日(日)	福岡県	北九州市立蟠田地域交流センター	人権講演会	一般の方々100名

25.	11月17日(月)	愛媛県	愛媛県	違いを楽しみ力にかえる～多文化共生“新時代”～	一般の方々
26.	11月19日(水)	福岡県	行橋市文化振興公社	人権講演会	一般の方々
27.	11月20日(木)	大分県	中津市	留学生が愛した国・日本～私を支えた人の優しさ、あたたかさ	一般の方々 600名
28.	11月26日(水)	新潟県	新潟市立小針中学校	違いを楽しみ力にかえる～多文化共生“新時代”～	生徒、保護者、学校関係者
29.	11月29日(土)	福井県	越前市	男女共同参画講演会	一般の方々
30.	12月6日(土)	宮崎県	都城市、教育委員会	国際理解講演会	一般の方々
31.	12月7日(日)	広島県	江田島市	人権講演会	一般の方々
32.	12月8日(月)	福岡県	福岡市人権啓発センター	人権講演会	一般の方々 800名
33.	12月15日(月)	新潟県	新潟青陵高校	国際理解講演会	在校生 1000名
34.	12月13日(土)	大阪府	羽衣国際大学	エスニック コミュニティーについて～移民社会のちから～	一般 80人
35.	12月14日(日)	香川県	東かがわ市	武士道と日本の子育て	一般の方々 300名
2015年					
36.	1月28日(水)	東京都	江東区立元加賀小学校	違いを楽しみ力にかえる～多文化共生“新時代”～	江東区内小学校の先生方
37.	1月30日(金)	北海道	北海道豊富高等学校	文化鑑賞会	高校生 80名+保護者
38.	3月1日(日)	京都府	NPO 京都消費生活有資格者の会、	お金に関して	一般府民
39.	3月5日(木)	奈良県	天川村教育員会	違いを楽しみ力にかえる	一般村民他
40.	3月21日(土)	東京都	読売育英奨学会	違いを楽しみ力にかえる～多文化共生“新時代”～	奨学生の方々

□ 2015年4月～2016年3月 講演会実績一覧 にしゃんた

	講演会実施日	都道府県	主催者・会合名	講演テーマ	聴講者と参加人数
1.	4月09日(木)	奈良県	生駒市役所	人権講演会	一般市民
2.	5月09日(土)	愛媛県	松前教育委員会	多文化共生新時代	一般、500名
3.	5月30日(土)	東京都	読売販売経営学院	違いを楽しみ力に変える	500名
4.	6月04日(木)	奈良県	差別をなくす奈良県宗教者連帯会合	違いを楽しみ力に変える、多文化共生新時代	400名
5.	6月13日(土)	滋賀県	国際教育振興会、国際交流基金	ディスカッションの司会など	700名
6.	6月15日(月)	一宮市	ケアマネT一宮	新時代のコミュニケーション	130名
7.	6月17日(水)	神奈川県	横浜市立豊田中学校	違いを楽しみ力に変える、多文化共生新時代	700名
8.	6月28日(日)	三重県	伊賀市	多文化共生新時代	150名
9.	6月30日(火)	大阪市	大阪電業協会	安全大会	200名
10.	7月01日(水)	福井県	東洋紡	安全大会	100名
11.	8月04日(火)	姫路市	姫路市	人権講演会	1500名
12.	9月14日(月)	大阪府	日本赤十字大阪府支部	共笑な毎日をめざして	70名
13.	9月23日(水)	熊本県	日本フェアトレード委員会	スリランカ、日本、世界平和について	300名
14.	10月02日(金)	愛知県	全国繊維資材商業組合連合	新時代のコミュニケーション	組合員
15.	10月09日(金)	東京都	東京都	基調講演+パネルディスカッション	東京都一般都民、他
16.	10月18日(日)	山梨県	山梨県男女共同参画センター	みんな地球家族～わかちあう仕事も家庭も喜びも～	一般100名
17.	10月25日(日)	静岡県	静岡市役所	未定	400名
18.	11月11日(水)	滋賀県	村田製作所野洲事業所	安全な組織をつくるための新時代のコミュニケーション	主催社員、製造現場保全担当責任者
19.	11月14日(土)	埼玉県	埼玉東松山市	人権に関して	一般市民
20.	11月15日(日)	京都府	綾部中学校PTA	多文化共生について	200名
21.	11月17日(火)(仮)	栃木県	富士通労働組小山支部	違いを楽しみ、力にかえる	120名
22.	12月05日(土)	山口県	光市役所	未定	800名
23.	12月06日(日)	東京都	多摩市役所	未定	250名
24.	12月04日(金)(仮)	北九州市	北九州市、ほか	人権講演	一般

25.	12月11日(金)	姫路市	四郷小学校	未定	児童、保護者
26.	12月10日(木)	高知市	高知市教育委員会	未定	生徒、保護者、地域の方々
27.	12月12日(土)(仮)	広島県	広島県福山市	未定。地域活性化についての内容(仮)	一般
28.	(2016年)				
29.	1月10日(日)(仮)	愛媛県	愛媛県砥部町	成人式の基調講演	新成人
30.	2月07日(日)	福井県	小浜市教育委員会	未定	一般、800名
31.	2月18日(木)	三重県	三重県私学協会	人権	私学中高教職員 200名
32.	2月20日(土)(仮)	今治市	今治市	男女参画社会	一般
33.	2月27日(土)(仮)	熊本県	合志市	未定	一般、500名

□ 2015年4月～2016年3月 講演会実績一覧 にしゃんた

	実施日	場所	主催者	対象	講演テーマ
1.	4月9日	ホテルニュータガワ	北九州青年会議所	会員と関係者	国際感覚を身につけよう
2.	5月9日	松前町総合文化センター	松前町教育委員会	一般の方々 500名	違いを楽しみ力にかえる～多文化共生“新時代”～
3.	5月12日	よみうり大手町ホール	読売販売経営学院	新聞販売店幹部の方々	違いを楽しみ力にかえる～多文化共生“新時代”～
4.	5月30日	西条市総合文化会館	西条市	会員ならびに一般 300名	国際交流で地域をより活性化
5.	6月4日	奈良県社会福祉総合センター	差別をなくす奈良県宗教者連帯 会議	加盟教団の宗教者 400名	違いを楽しみ力に変える～多文化共生“新”時代～
6.	6月15日	尾西生涯学習センター	ケアマ NET 一宮	一宮エリアケアマネジャー 130名	“新”時代のコミュニケーション
7.	6月17日	横浜市立豊田中学校体育館	横浜市立豊田中学校	在校生ならびに教職員 700名	違いを楽しみ、力にかえる～多文化共生“新”時代～
8.	6月28日	ハイトピア伊賀	伊賀市	一般市民 150名	共に学び、共に楽しむ、共笑な毎日をめざして
9.	6月30日	建設交流館	大阪電業協会	電気工事業者等 200名	違いを楽しみ、力にかえる～多文化共生“新”時代～
10.	7月1日	東洋紡敦賀事業所第一事業所	東洋紡	社員、協力会社の方々100名	安全な組織を作るための“新”時代のコミュニケーション
11.	8月4日	姫路市文化センター	姫路市役所	一般の方々 1500名	違いを楽しみ、力にかえる～多文化共生“新”時代～
12.	8月21日	ホテル阪急インターナショナル	大阪府交通安全協会	府内運輸関連事業所責任者等	(交通安全について)
13.	9月14日	大阪赤十字会館	日本赤十字大阪府支部	大阪日赤有功会の方々	共に学び、共に楽しむ、共笑(ともえ)な毎日をめざして
14.	9月23日	フードパル熊本	日本フェアトレード委員会	一般の方々	違いを楽しみ、力にかえる～多文化共生“新”時代
15.	10月2日	名古屋通信会館	全国繊維資材商業組合連合会	組合員	地域活性化のカギは、外国人の視点にあり
16.	10月9日	東京国際フォーラム	東京都	一般	違いを楽しみ力にかえる～多文化共生“新”時代～
17.	10月18日	山梨県男女共同参画推進センター	山梨県男女共同参画推進センター	一般 100名	みんな地球家族～わかちあう仕事も家庭も喜びも～
18.	10月25日	静岡市役所	静岡市役所	一般の方々 400名	違いを楽しみ、力に変える～多文化共生“新”時代 みんな地球家族!
19.	11月11日	村田製作所野洲事業所	村田製作所野洲事業所	主催社員	安全な組織を作るための“新”時代のコミュニケーション
20.	11月14日	東松山市民活動センター	埼玉県東松山市	一般市民	共に学び、共に楽しむ、共笑な毎日をめざして

21.	11月15日	綾部中学校体育館	綾部中学校 PTA	PTA 会員 200名	違いを楽しみ力に変える 多文化共生“新”時代
22.	11月17日	富士通小山工場	富士通労働組合小山支部	組合員 120名	違いを楽しみ、力にかえる～多文化共生“新”時代
23.	12月5日	光市民ホール	光市役所	一般の方々 700～800名	違いを楽しみ、力にかえる
24.	12月6日	関戸公民館	多摩市役所	一般の方々 250名	違いを楽しみ、力に変える～多文化共生“新”時代
25.	12月10日	高知市立城北中学校	高知市、高知市教育委員会	生徒・保護者、地域の方々	違いを楽しみ、力にかえる～多文化共生“新”時代～
26.	12月11日	四郷小学校	四郷小学校	児童、保護者	ともに学び、ともに楽しむ、 共笑（ともえ）な毎日をめざして
27.	12月12日	同志社香里高等学校	同志社香里高等学校	高校生 900名	セレンデュピティ～偶然を幸運にかえる力
28.	12月24日	トレードピアお台場 会議室	富士通ビー・エス・シー	社員 100～150名	違いを楽しみ、力にかえる～多文化共生“新”時代
2016年					
29.	1月8日	武雄市文化会館	武雄市	一般の方々	地域活性化のカギは、外国人の視点にあり
30.	2月5日	関西経済連合会 会議室	関西生産性本部	賛助会員 80名	日本的経営は海を越えられるか
31.	2月6日	関テレ扇町スクエア	関西国際交流団体協議会	一般	多文化共生“新”時代～排除でも同化でもなく、共に生きていくということ～
32.	2月7日	小浜市文化会館	小浜市教育委員会	一般の方々 800名	違いを楽しみ、力にかえる～多文化共生“新”時代
33.	2月9日	リリックおがわ	小川町商工会	商工会会員 60名	地域活性のカギは、外国人の視点にあり
34.	2月12日	京都ホテルオークラ	京都青年会議所	JC 会員ならびに一般 150名	世界に誇るまち京都～勇気×情熱×良心とかけまして～
35.	2月18日	津市内	三重県私学協会	三重県内私立中高教職 200名	違いを楽しみ、力にかえる～多文化共生“新”時代

□ 2016年4月～2017年3月 講演会実績一覧 にしゃんた

	実施日	場所	主催者	対象	講演テーマ
	2016年				
1.	7月23日	滋賀県青山市民センター	人権生涯学習推進協議会		違いを楽しみ力にかえる
2.	8月7日	三重県人権センター内	三重県人権センター	一般市民	“新”時代のコミュニケーション～にしゃんた先生と学ぶ「じんけん」
3.	8月23日	長野県飯田市	飯田信用金庫若手経営者の会	会員・一般	安全な組織を作るための“新”時代のコミュニケーション
4.	9月16日	枚方市（ラポール枚方）	枚方青年会議所	会員・一般	そうだ国際交流をしてみよう！
5.	9月10日	新潟第一中学校	新潟第一中高等学校	学生・PTA	セレンディピティ～偶然を幸運に変える力～
6.	9月6日	高岡商工ビル 2F	高岡青年会議所	会員・一般	違いを受け入れ、違いを楽しむ
7.	9月23日	臼杵市	臼杵市民会館	一般市民	臼杵市×キャンディ市/姉妹都市提携50周年記念
8.	10月13日	京都府立大江高等学校	京都府立大江高等学校 PTA	生徒、保護者 400名	違いを楽しみ、力に変える
9.	10月15日	行田市教育文化センター	人権フェス実行委員会	一般	違いを楽しみ、力に変える
10.	10月16日	ガレリアかめおか	京都府、京都市、	一般	京都文化カプロジェクト
11.	11月3日	京都市国際交流会館	京都市国際交流協会	一般の方々	共に考え、ともに楽しむ、世界平和を願って
12.	11月5日	くにびきメッセ	島根県	一般	ちがいを楽しみ、力に変える
13.	11月7日	姫路文化センター	姫路市保育所連盟	保育関係従事者 250名	ちがいを楽しみ力に変える～ことばの壁をこえて
14.	11月11日	日本橋公会堂	東京消防庁日本橋消防署	一般	安全・防災と国際化対策について
15.	11月13日	児島市民交流センター	グローバル広場 KOJIMA	一般 250名	違いを楽しみ、力に変える
16.	11月16日	木更津市内	木更津市	一般市民	多様性、多文化共生
17.	11月17日	ホテルニューオータニ	富士通エフサス（大阪）	重要顧客情報システム責任者	日本的経営は海を越えられたか！？
18.	11月22日	シンフォニア岩国	岩国市	一般	違いを楽しみ、力に変える
19.	12月1日	周南総合スポーツセンター	徳山地区高等学校	徳山地区内の高校校長	違いを楽しみ、力に変える
20.	12月2日	高砂市文化会館	高砂市	一般 600名	違いを楽しみ力に変える～多文化共生“新”時代
21.	12月3日	鳩山町文化会館	鳩山町	一般	共に学び、共に楽しむ、共笑な毎日をめざして
22.	12月5日	門司市民会館	北九州市、北九州市教委	一般	外国人の人権

23	12月16日	新潟日報メディアシップ	新潟日報社	一般 150名	地域活性化に国際化の視点を+
2017年					
24	1月26日	山武市市役所	千葉県山武市	職員 50名	国際交流と地域活性
25	2月2日	鶴沼高等学校	鶴沼高等学校	学生(1年生) 約 300名	国際理解について
26	2月5日	長野県長野市メルパルク	長野県	一般 700名	パネルディスカッション
27	2月28日	明石産業交流センター	明石市教育研究所	幼稚園及び小・中・養護	国際化、教育

□ 2017年4月～2018年3月 講演会実績一覧 にしゃんた

	実施日	場所	主催者	対象	講演テーマ
1.	2月28日	株式会社ライオン・アカデミー本社	大学新聞社	全国社員一同	違いを楽しみ力にかえる
2.	5月23日 ・24日	臼杵中学校5校	臼杵市	臼杵市全中学校学生	違いを楽しみ力にかえる
3.	6月17日	つくば市立ノバホール	つくば市 NHK	一般 500名	外国人弁論大会 イベント司会
4.	6月19日	ANA クラウド・サティル金沢	株式会社経営ソフトリサーチ北陸支局	中小企業経営者	共に笑う～新時代のコミュニケーション～
5.	7月6日	ネーブルパーク平成館	税理士法人経営研究会	取引先経営者 100名	日本で知った幸せの値段
6.	7月27日	ホテルモントレ大阪	阪和興業株式会社	協会会社経営者・役員	違いを楽しみ力にかえる
7.	8月10日	牛久市中央生涯学習センター	茨城市県庁	教職員、一般市民、700名	違いを楽しみ力にかえる
8.	8月11日	船橋市勤労市民センター	船橋青年会議所	一般市民 350名	国際交流、日本のおもてなし
9.	9月1日	文化講演会	カリタス女子中高等学校	全校生 1100名	違いを楽しみ、力にかえる
10.	9月21日	伊勢市観光文化会館	皇學館高等学校	全校生	違いを楽しみ、力にかえる
11.	9月28日	越谷サンシティ	TKC 会員（税理士・公認会計士）	100名	日本で知った幸せの値段
12.	11月1日	品川グース	内外情勢調査会	50名	違いを楽しみ力に変える
13.	11月10日	大同生命京都ビル	TKC 近畿京滋会	税理士、公認会計士、80名	日本で知った幸せの値段
14.	11月19日	ふれあいフェスティバル 2017	熊本県合志市社協	500名	違いを楽しみ力に変える
15.	11月23日	命ふれあいセンター・サンホール	香南市	一般 300名	違いを楽しみ力に変える～多文化共生「新」時代～
16.	11月30日	日本ゼオン株式会社本社	日本ゼオン株式会社	社員 150名	違いを楽しみ、明るい職場に
17.	12月02日	人権教育講演会・国分寺公民館	下野市	500名	違いを楽しみ、力にかえる
18.	12月07日	山崎文化会館	宍粟市生涯学習センター	一般	違いを楽しみ力に変える～多文化共生「新」時代～
2018年					
19.	1月11日	桜花学園大学	桜花学園大学学芸学部英語学科	学生、教職員 100名	国際化時代を民際に生きる力を育む
20.	2月02日	難波人権展	浪速・港・西・大正区役所	500名	違いを楽しみ、力に変える
21.	2月03日	アルカス佐世保	佐世保市	300名	違いを楽しみ、力に変える

22.	2月10日	家庭教育研修会	京都府 PTA 協議会	父母 500 名	スマホ時代の人権
23.	2月11日	テレビ寺子屋（公開収録）	テレビ静岡	200 名	「日本で知った幸せの値段」 & 「日本最高齢の象」
24.	2月14日	多文化共生カワルissながの	長野県	一般市民 300 名	違いを楽しみ、力に変える
25.	3月25日	長与町公民館	長与町	500 名	長与町国際交流協会設立 20 周年イベント「違いを楽しみ力に変える」
26.	3月27日	電気労連組合会	日本電気労働組合本社支部	100 名	違いを楽しみ力に変える～多文化共生「新」時代～

□ 2018年4月～2019年3月 講演会実績一覧 にしゃんた

	実施日	場所	主催者	対象	講演テーマ
1.	04月24日	大阪府	大阪府都市選挙管理委員会連合会（会場：門真市）	100名	共に笑う～新時代のコミュニケーション～
2.	05月15日	大阪府	象印マホービン	200名	個人のちがいを、組織のちからへ～多様性（ダイバーシティ）の観点で組織を活性化する～
3.	05月19日	群馬県	群馬県立高崎工業高等学校	500名	将来の日本で幸せに生きるために
4.	05月26日	長崎県	国際交流基金（壱岐市にて）	600名	第59回外国人による日本語弁論大会（審査員）
5.	05月29日	和歌山市	羽衣国際大学	50名	移民受け入れ国・日本の多文化共生
6.	06月01日	広島県	須賀工業株式会社	100名	安全な組織を作るための新時代のコミュニケーション
7.	06月20日	大阪府	SK エンジニアリング株式会社	500名	安全な組織を作るための新時代のコミュニケーション
8.	06月23日	山口県	株式会社ガンシン	500名	安全な組織を作るための新時代のコミュニケーション
9.	07月08日	茨城県	古河市国際交流協会	500名	共に学び、共に楽しむ、共笑な毎日をめざして
10.	07月11日	福岡県	福岡県久山町人権講演会	1000名	違いを楽しみ、力に変える多文化共生“新”時代
11.	07月14日	奈良県	五條市人権啓発推進本部	1500名	違いを楽しみ、力にかえる
12.	07月20日	東京都	東京都青少年応援プロジェクト（小金井）	100名	違いを楽しみ、力にかえる
13.	08月20日	大阪府	阪南市人権講演会	500名	違いを楽しみ、力にかえる
14.	08月24日	大阪府	八尾市人権	1000名	違いを楽しみ、力にかえる多文化共生と「新」時代
15.	09月05日	大阪府	象印マホービン	200名	個人のちがいを、組織のちからへ～多様性（ダイバーシティ）の観点で組織を活性化する～
16.	09月09日	神奈川県	大和青年会議所	2000名	多文化共生フォーラム～動き出そう未来のために～
17.	09月14日	東京都	全日本同和会関東東北連合会（憲政記念館）	500名	全日本同和会関東東北連合会研修大会 基調講演
18.	10月01日	兵庫県	兵庫県立明石西高校 PTA	320名	違いを楽しみ、力に変える
19.	10月20日	館林市	館林市	1000名	外国人の人権
20.	10月27日	愛知県	心の講演会—真宗大谷派 三河別院	100名	日本で知った幸せの値段～幸せになる方程式
21.	11月10日	兵庫県	兵庫県日ノ本学園高校 PTA	1000名	違いを楽しみ、力にかえる
22.	11月13日	東京都	防災に関する都民シンポジウム防災×外国人	500名	シンポジウムでは、防災×「在住外国人」
23.	11月14日	和歌山	和歌山県立粉河高等学校	700名	違いを楽しみ、力にかえる

24.	11月21日	三重県	桑名・四日市・鈴鹿地域防災総合事務所	80名	多文化共生と人権
25.	11月23日	石川県	北陸ジーエス・ユアサ会 金沢	200名	セレンディピティ ～偶然を幸福にかえる力～
26.	12月02日	三重県	明和町	200名	違いを楽しみ、力にかえる
27.	12月07日	大阪府	大阪市中央区	300名	日本で知った幸せの値段
28.	12月08日	香川県	小豆島町役場	200名	違いを楽しみ、力にかえる
29.	12月11日	京都府	部落解放・人権政策確立要求京都市実行委員会	100名	多様性がもたらす世界の平和—世界人権宣言 70年に思うこと
30.	12月13日	宮城県	宮城県観光誘致関連関係者	50名	外国人視点から見る日本の観光
31.	12月20日	大阪府	アサンプション国際中学校・高等学校	300名	違いを楽しみ、力にかえる
	2019年				
32.	1月16日	岡山市	大和ハウス住宅メーカー安全大会	100名	安全大会講和
33.	1月21日	東京都	日本ダイカスト協会	100名	多文化共生の時代～多様性の時代の職場づくり～
34.	2月04日	徳島市	平成30年度人権を考える市民のつどい	800名	違いを楽しみ、力に変える多文化共生“新”時代
35.	2月05日	鹿児島市	鹿児島県「人権同和問題県民のつどい」	1500名	違いを楽しみ、力にかえる
36.	3月10日	米原市	社会福祉法人青祥会	350名	異文化理解とコミュニケーション
37.	3月14日	大阪府	羽衣国際大学人権講演	60名	違いを楽しみ、力に変える（多様性と包摂：Diversity & Inclusion）

□ 2019年4月～2020年3月 講演会実績一覧 にしゃんた

	実施日	場所	主催者	対象	講演テーマ
2019年					
1	04月26日	京都市	(公)生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会	保険業従事者 300名	共に笑う～新時代のコミュニケーションカ～
2	09月25日	東京都	国分寺青年会議所	東京都民 200名	「多文化共生を学び、ダイバーシティ社会へ」
3	10月05日	大阪	ワイズメンズクラブ国際協会西日本区	関係者 200名	日本で知った幸せの値段
4	10月24日	いわき市	福島県立いわき光洋高校	600名	違いを楽しみ、力に変える
5	11月01日	和歌山県	和歌山県立田辺工業高等学校	600名	違いを楽しみ、力に変える
6	11月29日	滋賀県	滋賀大学—SDGs 週間	100名	SDGs における多文化共生—自由で伸びやかな社会へ—
7	12月10日	奈良県	奈良県人権教育推進協議会	200名	日本人から見た日本、外国人から見たニッポン ～2020年東京オリンピック・パラリンピックから考える～
8	12月14日	山口県	山口市人権ふれあいフェスティバル	500名	違いを楽しみ、力にかえる～
9	12月20日	岐阜県	関市立下有知中学校	250名	違いを楽しみ、力にかえる～多文化共生“新”時代～
2020年					
10	2月11日	大垣市	大垣市教育委員会	450名	違いを楽しみ、力にかえる～多文化共生“新”時代～
11	2月12日	三重県	北勢地域人権啓発セミナー（鈴鹿地域）	100名	外国人の人権
12	2月14日	東京都	カストロール社 ゲスト講演	150名	Transform
13	3月05日	東京都	国民生活産業・消費者団体連合	50名	外国人受入れに向けて地域、企業が心構えについて
14	3月27日	東京都	日本スリランカ文化交流協会	200名	世界一親日家—J.R.ジャヤワルダナについて

2021年4月～2022年3月 講演会実績一覧 にしゃんた

	実施日	場所	主催者	対象	講演テーマ
【2021年】					
1	5月13日	仙台市	仙台青年会議所	関係者・一般	共に笑える新時代共生
2	7月25日	仙台市	フォーサム2021 /眼科系医学会（招待講演）	関係者	お涙頂戴いたしますーにしゃんたの日本奮戦記！
3	8月2日	北杜市	北巨摩教育会館 峡北教育研究協議会 峡北教育振興協議会	小学校・中学校教職員	共に笑う～ダイバーシティ（多様性の）時代の生き方～
4	9月7日	神戸市	神戸市	神戸市民	違いを楽しみ、力にかえる（コロナにより主催関係者メディアに限定）
5	9月8日	全 国	象印・市川国際奨学財団（オンライン）	奨学生・関係者	先輩留学からのエール（にしゃんた）
6	9月10日	東京都	外務省・JICA「グローバルフェスタ JAPAN2021」	一般	これが私たちの描く未来ー多様性あふれる世界、国際協力について語ろう
7	10月12日	東京都	足立区ー青少年応援プロジェクト	一般区民	“ちがい”を楽しみ、力にかえる
8	11月7日	たつの市	兵庫県たつの市民化推進協議会 揖西支部	教職員・PTA・一般	人権教育実践発表会：ちがいを楽しみ、力かえるー多文化共生新時代ー
9	10月18日	有田市	有田市箕島中学校	全校生・教職員・保護者	人権講演会
10	11月17日	秋田県	秋田県国際交流協会（30周年記念式典基調講演）	関係者・一般	違いを楽しみ、明るい職場に～ダイバーシティ&インクルージョン
11	11月24日	三重県	三重県立相可高等学校	全校生・教職員・保護者	多様性について語ろう
12	11月28日	小都市	郡山市（オンデマンド）	郡山市民	違いをたのしみ、ちからにかえる <small>みんなが“ちがう”からのたのしい。みんなが“ちがう”からはじめよう</small>
13	12月1日	品川区	神戸市	神戸市民長田区民	違いを楽しむ～7万円を手に入れた！異国で求めた幸せ～
14	12月5日	鹿島市	（株）ブリストル・マイヤーズ・スクイブ（オンライン）	全国の社員	あなたらしさ、わたしらしさ：ダイバーシティ&インクルージョン
15	12月10日	千代田区	千代田区	一般区民	ちがいを楽しみ、力にかえる
16	12月26日	福井市	福井市国際交流協会（オンライン）	一般市民	幸福度日本一福井のみなさんへ ～ ちがいを楽しみ、力にかえる ～
【2022年】					
17	2月6日	泉大津市	泉大津市（オンライン）	一般市民	コロナと女性と人権
18	2月10日	和歌山市	和歌山県町村議会議長会（オンデマンド）	町村議長・副議長など	ともに笑う～新時代のコミュニケーション
19	2月13日	東京都	荒川区青少年育成地区委員会連絡業議会	一般区民・関係者	異文化理解「ちがいを楽しみ、力にかえる」
20	3月9日	松戸市	松戸市	市民・関係者	ちがいを楽しみ、力にかえるー多文化共生新時代

2022年4月～2023年3月 講演会実績一覧 にしゃんた

	実施日	場所	主催者	対象	講演テーマ
【2022年】					
1.	7月2日	高槻市	日本青年会議所近畿地区大会	関係者・一般	国際社会における共生:グローバルダイバーシティフォーラム
2.	7月29日	金沢市	石川県教育委員会	関係者・一般県民	違いを楽しみ、ちからに変えるーだれも取り残さない明るい職場に～ダイバーシティ&インクルージョン
3.	8月31日	富山市	富山県（富山県総合社会福祉会館）	公務員・一般県民	共に笑うーダイバーシティ（多様性）の時代の生き方
4.	8月31日	高岡市	三重県（富山県高岡文化ホール）	公務員・一般県民	共に笑うーダイバーシティ（多様性）の時代の生き方
5.	10月20日	全国 <small>オンライン</small>	株式会社ハート（株式会社バンダイ傘下）	全社員	多文化共生とSDGS
6.	12月22日	伊勢市	連合三重津地域協議会	連合の関係者	共に笑い合える社会のつくりかた
7.	11月8日	伊賀市	伊賀地域人権まちづくりトップセミナー	市長・議員	地域活性化に国際化の視点:違うから楽しい違いを取り入れて持続可能で笑顔溢れる社会に
8.	11月18日	奈良市	奈良女子高等学校	全校生・教職員・PTA	“ちがいを”をたのしみ、力にかえる
9.	12月4日	河南町	河南町	一般町民	地域活性化に国際化の視点を
10.	12月17日	伊勢市	パナソニックグループ労働組合連合会	連合の関係者	共に笑い合える社会のつくりかた
11.	12月21日	東京都	東京都台東区	一般都民	多文化共生社会とは～ちがいを楽しんで、力にかえよう～
12.	12月24日	大津市	近畿地区高等学校国際教育研究協議会 etc.	関係者	異文化共生社会を目指して
【2023年】					
13.	2月4日	日立市	茨城県商工会議所 青年部連合会	関係者・一般市民	地域活性化に国際化の視点を
14.	2月8日	大阪市	大阪市「おおさか多文化共生シンポジウム」	一般市民	共笑（ともえ）の発想、そして持続可能な地域社会へ
15.	2月19日	名古屋市	名古屋市	一般市民	誰一人取り残さない、共に笑える社会の作り方
16.	2月22日	越前市	越前市武生第一中学校	全校生・教職員・PTA	ちがいを楽しんで、力にかえよう
17.	3月9日	広島市	広島市立舟入高等学校	全校生・教職員	ちがいを楽しみ、力にかえる
18.	3月3日	中津市	2022年ダイハツ九州協力会	ダイハツ社・協力企業経営者	ちがいを楽しみ、明るい職場に

□ 2010年4月～2020年3月 メディア出演実績一覧 にしゃんた

	出演の形態	番組名	放送局など	日時
1.	コメンテーター	モーニング CROSS (準レギュラー)	東京MX	2014年05月14日 (現在に至る)
2.		垣花正 あなたとハッピー (準レギュラー)	ニッポン放送	2012年12月08日 (現在に至る)
3.	コメンテーター	「TOKYO ナイツのちゃきちゃき大放送」 (準レギュラー)	TBS ラジオ	2016年12月31日 (現在に至る)
4.	コメンテーター	明日のコンパス (フジテレビ・オピニオンリーダー)	ホウドウキョク (フジテレビ)	2015年04月08日 (現在に至る)
5.	先生	テレビ寺子屋 「日本で知った幸せの値段」 「日本最長老の象 アヌーラ」 「世界一の親日家 ジャヤワルダナ大統領」 「スリランカの子育て」 「共に笑おう」 「違いを楽しもう」 「日本最長老の象 アヌーラ」 「日本で知った幸せの値段」	フジテレビ+全国24局	2014年10月25日 (現在に至る)
6.	論者	視点・論点「おかげさまで」	NHK教育テレビ	2013年07月22日
7.	先生	世界一受けたい授業	読売テレビ	2010年10月23日
8.	コメンテーター	知りたがり! (月曜日レギュラー)	フジテレビ	2012.4月～9月30日
9.	コメンテーター	外国人タレントから見た日本のテレビ	新・週刊フジテレビ批評	2013年02月09日
10.	プレゼンター	世界遺産ドリーム対決 (外国人が驚く古都・奈良&京都)	NHK 総合	2015年01月02日
11.	コメンテーター	くにもるジャパン	文化放送	2015年08月31日
12.	特別審査員	外国人による日本語弁論大会	NHK	2015年07月12日 他

13.	プレゼンター	世界遺産ドリーム対決（お国自慢ツアー：スリランカ対スイス）	NHK 総合	2013年04月29日
14.	コメンテーター	Mr.サンデー	フジテレビ	2012年2月12日 他
15.	紹介者、回答者	世界ふしぎ発見！	TBS テレビ	2013年7月17日
16.	コメンテーター	世界行ってみたらホントはこんなトコだった！？	フジテレビ	2014.02.12 他
17.	ゲスト	ラジオ深夜便-明日のことば	NHKラジオ	2013年6月08日 他
18.	回答者	Qさま-新春3時間SP	テレビ朝日	2013年01月06日
19.	出演者	たかじんNOマネー	テレビ大阪	2014年02月15日
20.	コメンテーター	Nスタ	TBSテレビ	2013年10月03日 他
21.	ゲスト	飛べ！サルバドール	文化放送	2013年06月04日
22.	コメンテーター	未来世紀ジパング～沸騰現場の経済学～	テレビ東京	2013年01月13日 他
23.	ゲスト	大谷ノブ彦の Good Job ニッポン	ニッポン放送	2013年10月01日
24.	ゲスト	大沢悠里のゆうゆうワイド	TBSラジオ	2013年10月02日
25.	回答者	Qさま	テレビ朝日	2014年2月6日 他
26.	ゲスト	ペケボン（準レギュラー）	フジテレビ	2010年08月03日
27.	ゲスト	vs 嵐	フジテレビ	2012年04月12日
28.	ナビゲーター…	アジアン・タイムズ	BSジャパン	2014年9月28日 他
29.	回答者	芸能人雑学王（3時間スペシャル）	テレビ朝日	2012年09月27日
30.	ゲスト	渡邊美樹 5年後の夢を語ろう！	ニッポン放送	2012年11月10日 他
31.	ゲスト	柳家喬太郎のキンキラ金曜日	FM TOKYO	2012年10月26日
32.	ゲスト	LOHAS TALK	J-WAVE	2012年10月15日 他
33.	ゲスト	高田文夫の ラジオビバリー昼ズ	ニッポン放送	2013年1月23日
34.	ゲスト	ノムラでノムラだ♪EXトラ！	MBS	2013年1月28日
35.	ゲスト	笑福亭銀平の銀ぎんワイド	ラジオ大阪	2013年1月16日
36.	ゲスト	TOKYO MORNING RADIO	J-WAVE 81.3FM	2012年9月24日
37.	ゲスト	NEWS DELIVERY	JFN	2012年10月1日

38.	ゲスト	THE VOICE	JFN	2012年10月1日
39.	ゲスト	NEWS DELIVERY	FM 山口	2012年9月14日
40.	ゲスト	梅田淳のぶっちゃけインタビュー	ラジオ大阪	2012年10月01日
41.	ゲスト	みやびじょんワイド	京都みやびじょん	2012年9月21日
42.	ゲスト	ぼじポジたまご	KBS	2012年10月15日
43.	ゲスト	森谷威夫のお世話になります!!	KBS	2012年10月17日
44.	ゲスト	わがまち探偵団	JCOM	2012年10月2日～(2週間)
45.	ゲスト	SHELLY GO ROUND	ニッポン放送	2014年10月25日
46.	コメンテーター	日曜ビッグバラエティ-言われてみれば日本すごい史!	テレビ東京	2014年3月9日
47.	案内人	中川翔子のスリランカ～世界遺産と暮らす国～	フジテレビ	2014年3月2日
48.	コメンテーター	金曜カーソル	WOWOW	2014年5月9日
49.	スピーカー	失われた多様性(テレニュース24)	日本テレビ	2014年5月15日
50.	アンカー	Harvesting the future	NHK WORLD	2014年11月15日
51.	コメンテーター	スーパーアンカーニュース	関西テレビ	2014年8月25日 他
52.	レポーター	Technology & Business Special: Unknown World Leaders	NHK WORLD(ラジオ)	2014年7月29日
53.	チャレンジャー	全カクイズ	NHK プレミアム	2014年9月23日
54.	コメンテーター	セカイで二ホン GO	NHK 総合	2011年9月15日
55.	特集(ゲスト)	ほっと@アジア	NHK BS	2011年11月26日
56.	ゲスト	TV シンポジウム「たすけあいを忘れない」	NHK Eテレ	2012年12月24日
57.	レポーター	京都ふらり～	KBS 京都	2011年5月9日 他
58.	キャラクター	CM セーフティードライブ キャンペーン(レギュラー)	ラジオ大阪	2010年4月1日 他
59.	ゲスト	大竹まこと ゴールデン ラジオ	文化放送	2014年9月1日
60.	レポーター	す・またん! ZIP!	読売テレビ	2013年6月18日
61.	司会進行	ごきげん☆ちゃんがる(レギュラー)	J COM(高槻・島本町)	2009年4月1日～3年間
62.	ゲスト	ネプリーグ	フジテレビ	2017年12月4日 他
63.	コメンテーター	AbemaPrime	Abema TV	2016年8月16日 他
64.	ゲストコメンテーター	サンキュータツオの丸っと日本語クリニック	TBS ラジオ	2016年7月22日 他

65.	MC	SHIGA バス インバウンド ツアー	NHK 大津	2018年7月20日 他
66.	ゲスト	新説所 JAPAN	フジテレビ	2018年12月3日 他
67.	にしゃんた特集	『映像19』 「私が選挙に出る理由～元外国人の選挙戦～」	MBS	2019年8月25日 他
68.	ゲスト	よなおし堂	RKB ラジオ	2019年7月22日 他
69.	立候補者	政見放送 (にしゃんた)	NHK 他	2019年7月10日 他

